

総社市子ども・子育て支援ニーズ調査  
(調査結果報告書)

総社市

# 目 次

I	調査の概要	1
1	調査目的	1
2	調査の方法	1
3	回収の結果	1
4	報告書の見方	1
5	回答者の属性	2
II	調査結果	3
1	子どもをみてもらえる親族・知人の状況	3
2	両親の就労の状況	4
3	幼稚園・保育所等の利用状況	7
4	幼稚園・保育所等の利用希望	12
5	地域子育て支援拠点事業の利用希望	21
6	病児・病後児保育の利用希望	22
7	一時的保育の利用希望	23
8	小学校就学後の放課後の過ごし方	26
9	育児休業の取得状況	27
10	小児医療費	29

## I 調査の概要

### 1 調査目的

市内の子育てを行う世帯の現在の幼児教育・保育事業の利用状況や今後の利用希望、子育てについて要望を把握し、幼稚園・保育所事業、地域子育て支援事業の「量の見込み」の算出など、計画に反映することを目的とする。

### 2 調査の方法

#### (1) 調査地域

市内全域

#### (2) 調査対象

就学前児童がいる世帯

#### (3) 抽出方法

無作為抽出

#### (4) 調査方法

郵便配布・郵送回収

#### (5) 調査時期

平成25年8月30日～平成25年9月30日

### 3 回収の結果

(1) 調査票送付数            2,000 票

(2) 有効回答数            1,206 票            有効回答率    60.3%

### 4 報告書の見方

(1) 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比(%)で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とまらない場合がある。

(2) 複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。

(3) 報告書中の図表では、コンピューター入力の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

## 5 回答者の属性

### (1) 居住地域

(上段：回答数 下段：%)

回答数	総社	総社中央	総社北	常盤	総社東	阿曾	池田	秦
1,206 -	223 18.5	155 12.9	47 3.9	270 22.4	82 6.8	37 3.1	10 0.8	27 2.2
	神在	総社西	新本	昭和	維新	山手	清音	無回答
	34 2.8	56 4.6	23 1.9	21 1.7	8 0.7	115 9.5	83 6.9	15 1.2

### (2) 年齢

(上段：回答数 下段：%)

回答数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	無回答
1,206 -	125 10.4	197 16.3	207 17.2	230 19.1	236 19.6	210 17.4	1 0.1

### (3) 世帯構成

(上段：回答数 下段：%)

回答数	二世帯世帯 (子どもと親)	三世帯世帯 (子どもと親 と祖父母)	その他の世帯	無回答
1,206 -	911 75.5	249 20.6	45 3.7	1 0.1

### (4) 両親の状況

(上段：回答数 下段：%)

回答数	両親ともいる	母子世帯	父子世帯	その他
1,206 -	1,140 94.5	55 4.6	5 0.4	6 0.5

### (5) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

全体	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	知人がいる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	急時など際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
1,206 -	439 36.4	715 59.3	38 3.2	167 13.8	84 7.0	27 2.2	

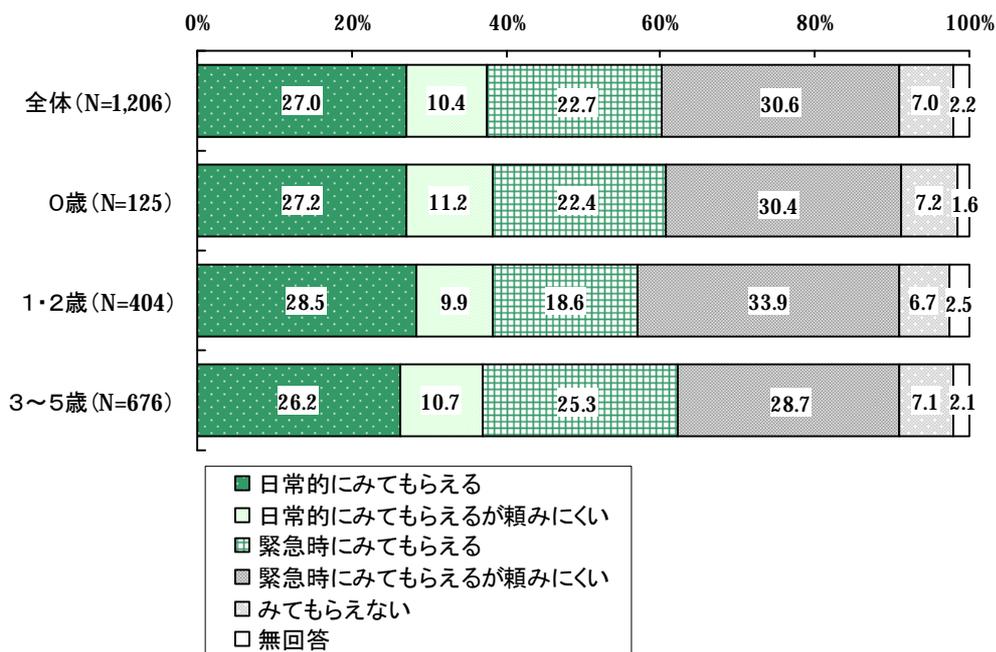
## II 調査結果

### 1 子どもをみてもらえる親族・知人の状況

子どもをみてもらえる親族、知人がいる状況は、日常的に問題なくみてもらえる割合は全体で27.0%であり、年齢による大きな差はみられない。

また、緊急時に問題なくみてもらえる割合は全体で22.7%であり、1・2歳でやや低くなっている。

【子どもをみてもらえる状況】



## 2 両親の就労の状況

### (1) 母親の就労状況

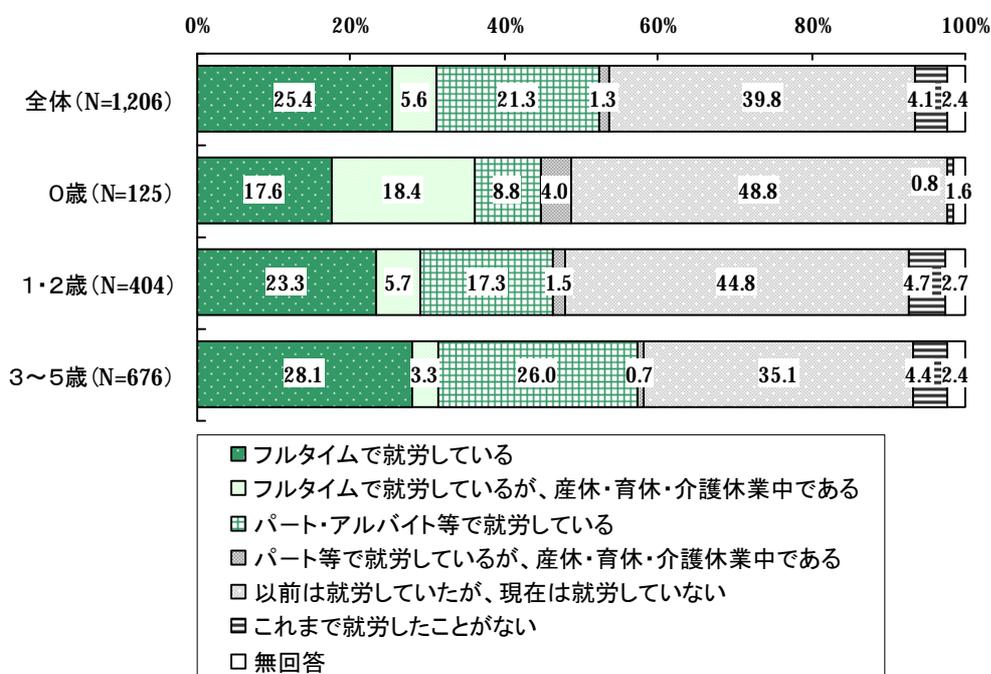
全体では、「フルタイム」が**31.0%**、「パート・アルバイト」が**22.6%**であり、就労している母親の割合は**53.6%**である。

年齢区別にみると、**0歳**、**1・2歳**では就労している母親の割合が4割弱であるが、**3～5歳**では「パート・アルバイト」の割合が高くなり、就労している母親の割合は約6割となっている。

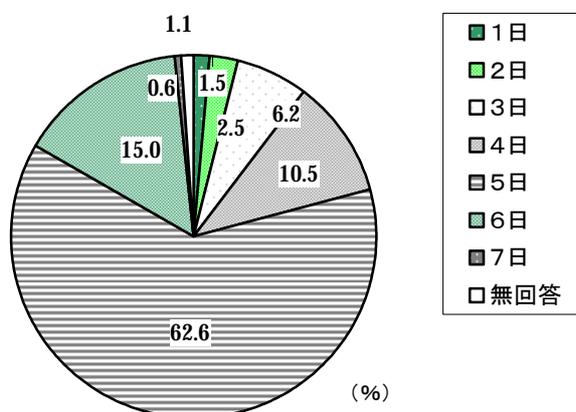
また、1週当たりの勤務日数は**5日**が**62.6%**で最も高く、1日当たりの勤務時間は**8時間**が**39.3%**で最も高くなっている。

一方、就労していない母親のうち、「1年以上経って、一番下の子どもが大きくなったころ就労したい」と回答した割合が**59.1%**で最も高く、その際の子どもの年齢としては、**6歳以上**が**56.9%**となっている。

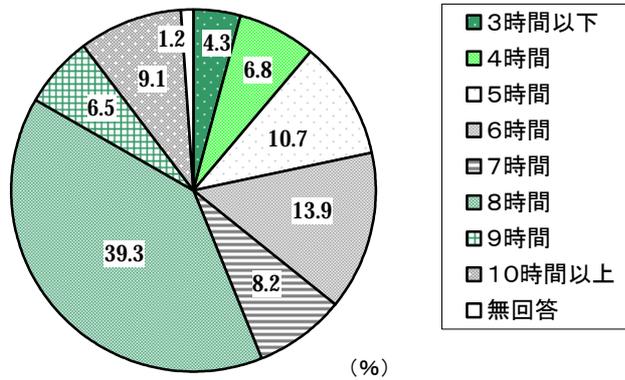
【母親の就労状況/年齢区分別】



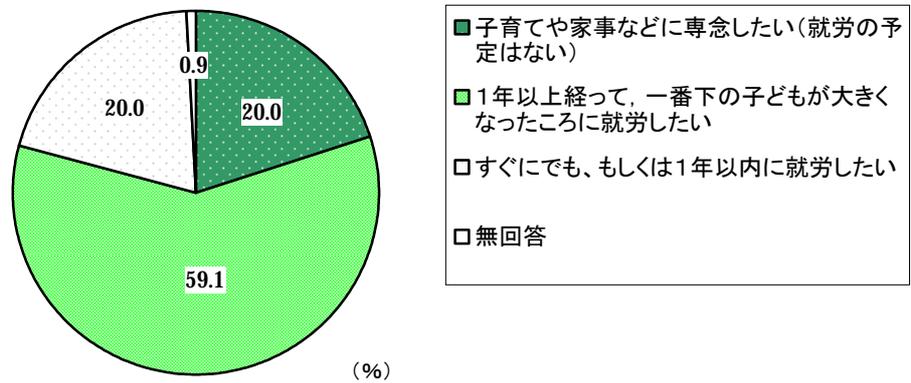
【母親の1週当たりの勤務日数】 N=647



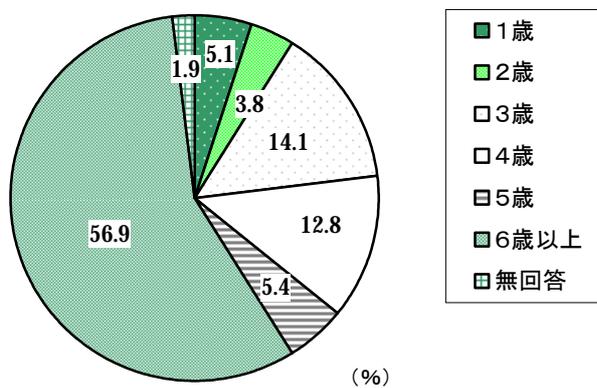
【母親の1日当たりの勤務時間】 N=647



【就労していない母親の就労希望/就労していない母親】 N=530



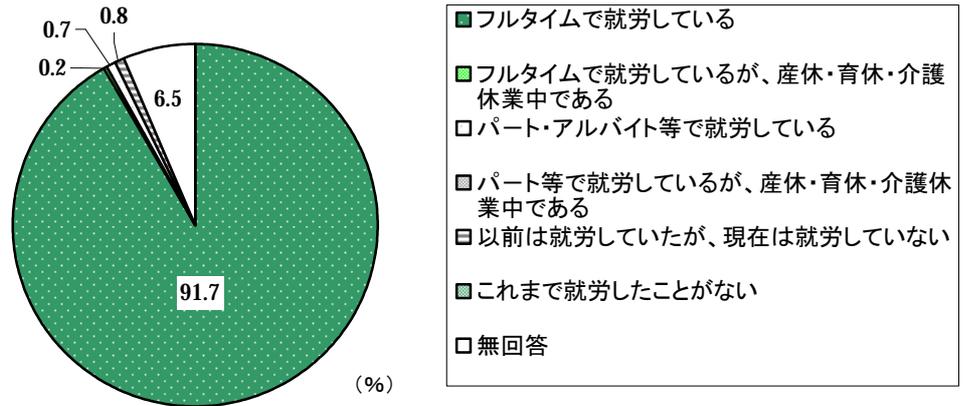
【子どもが大きくなってから就労したい場合の子どもの年齢】 N=313



### (2) 父親の就労状況

「フルタイム」が91.9%、「パート・アルバイト」が0.7%であり、就労している父親の割合は92.6%である。

【父親の就労状況】 N=1,206

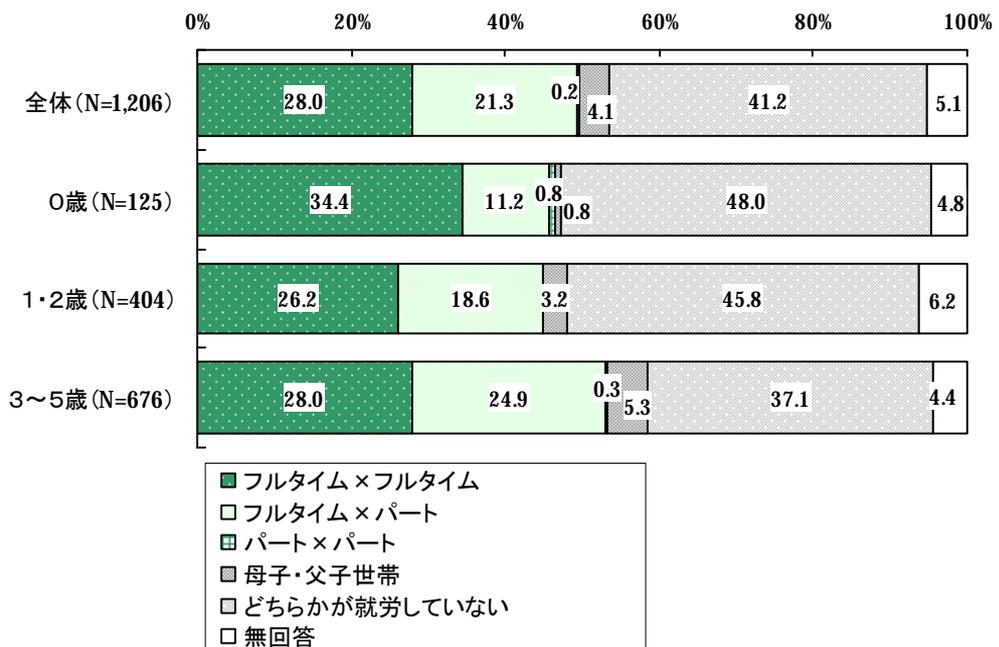


### (3) 両親の就労状況

両親ともにフルタイムの割合は、全体で28.0%、0歳で34.4%、1・2歳で26.2%、3～5歳で28.0%となっている。

また、両親ともに働いている割合は、全体で49.5%、0歳で46.4%、1・2歳で44.8%、3～5歳で53.2%となっている。

【両親の就労状況】



### 3 幼稚園・保育所等の利用状況

#### (1) 定期的な幼稚園・保育所等の利用状況

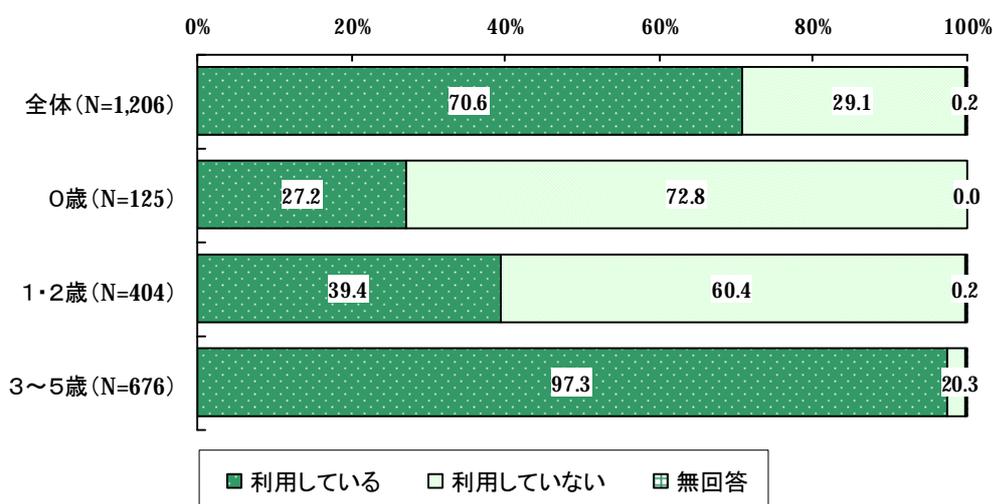
定期的な幼稚園・保育所等を利用している割合は全体で70.6%となっている。

年齢区別にみると、利用している割合は、0歳が27.2%、1・2歳が39.4%、3～5歳が97.3%となっている。

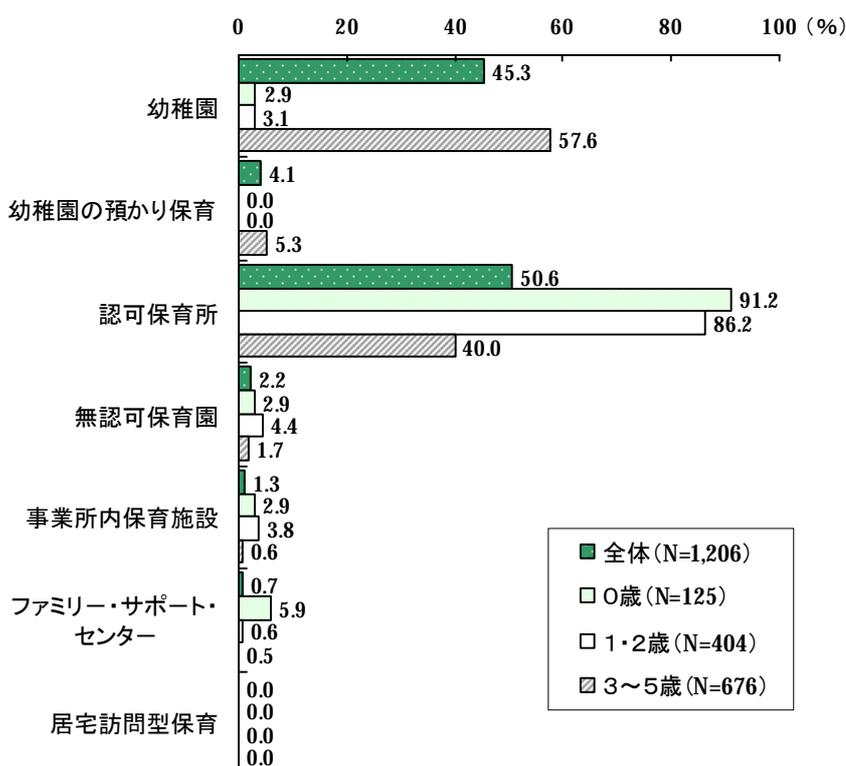
利用している事業は、全体では、「幼稚園」が45.3%、「幼稚園の預かり保育」が4.1%、「認可保育所」が50.6%、「無認可保育所」が2.2%となっている。

年齢区別にみると、「認可保育所」は、0歳で91.2%、1・2歳で86.2%、3～5歳で40.0%、「幼稚園」は、3～5歳で57.6%となっている。

【定期的な幼稚園・保育所等の利用状況/年齢区分別】



【利用している事業/年齢区分別】



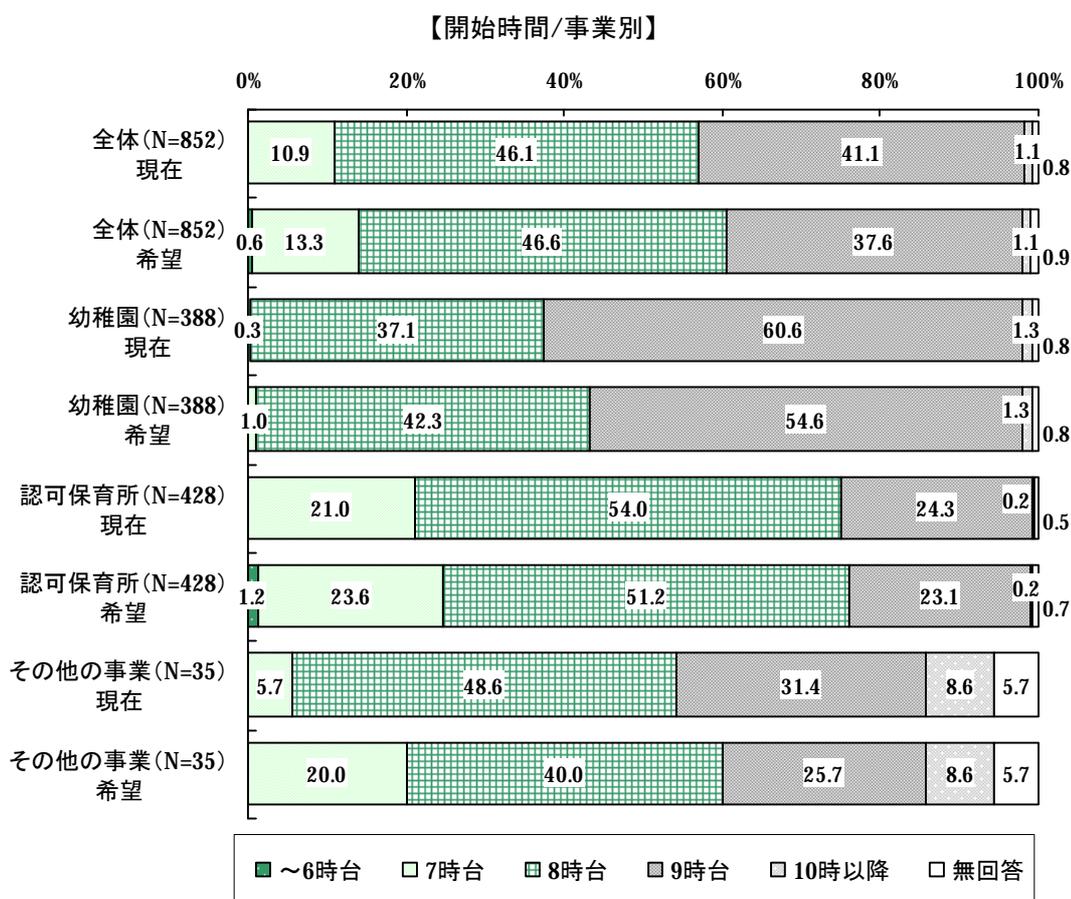
## (2) 利用時間と利用希望時間

幼稚園を利用している世帯の現在の利用開始時間は、9時台が**60.6%**と高く、希望開始時間は、現在と比べて8時台が高くなっている。

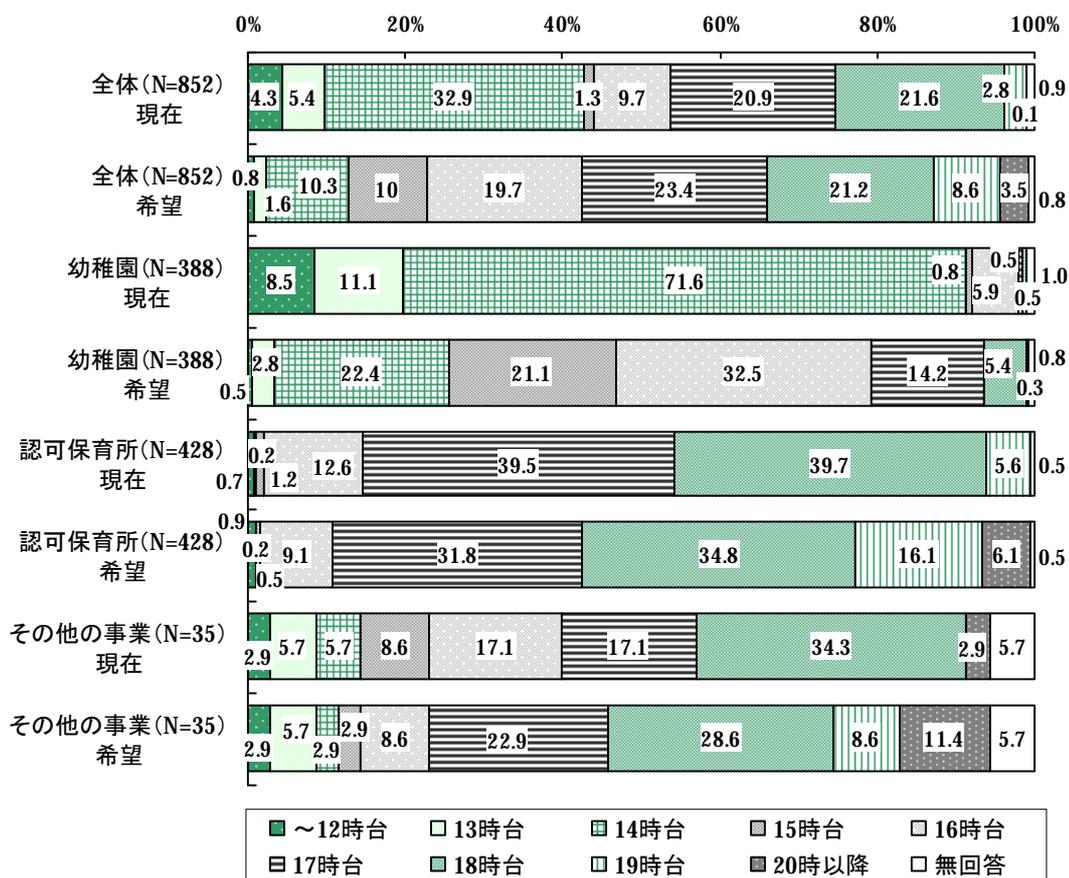
認可保育所を利用している世帯の現在の利用開始時間は、8時台が**54.0%**と高く、希望開始時間は、現在と比べて6時台以前、7時台がやや高くなっている。

幼稚園を利用している世帯の現在の利用終了時間は、14時台が**71.6%**と高く、希望終了時間は、現在と比べて14時台が低くなり、15時台～17時台が高くなっている。

認可保育所を利用している世帯の現在の利用終了時間は、18時台が**39.7%**、17時台が**39.5%**と高く、希望終了時間は、現在と比べて19時台、20時以降が高くなっている。



【終了時間/事業別】

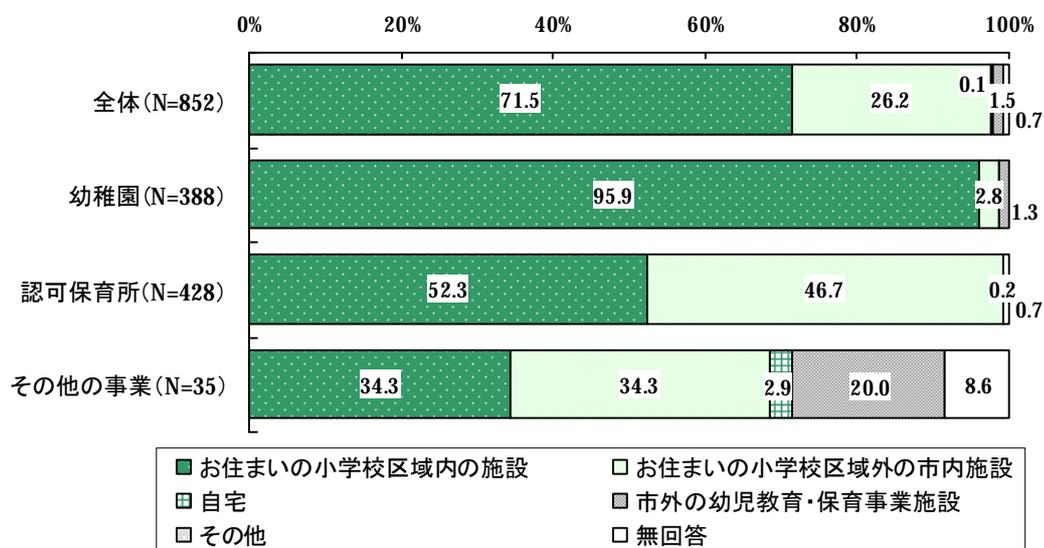


(3) 実施場所

利用している事業の実施場所が住まいの小学校区である割合は、幼稚園では 95.9%であるが、認可保育所では 52.3%、その他の事業では 34.3%となっている。

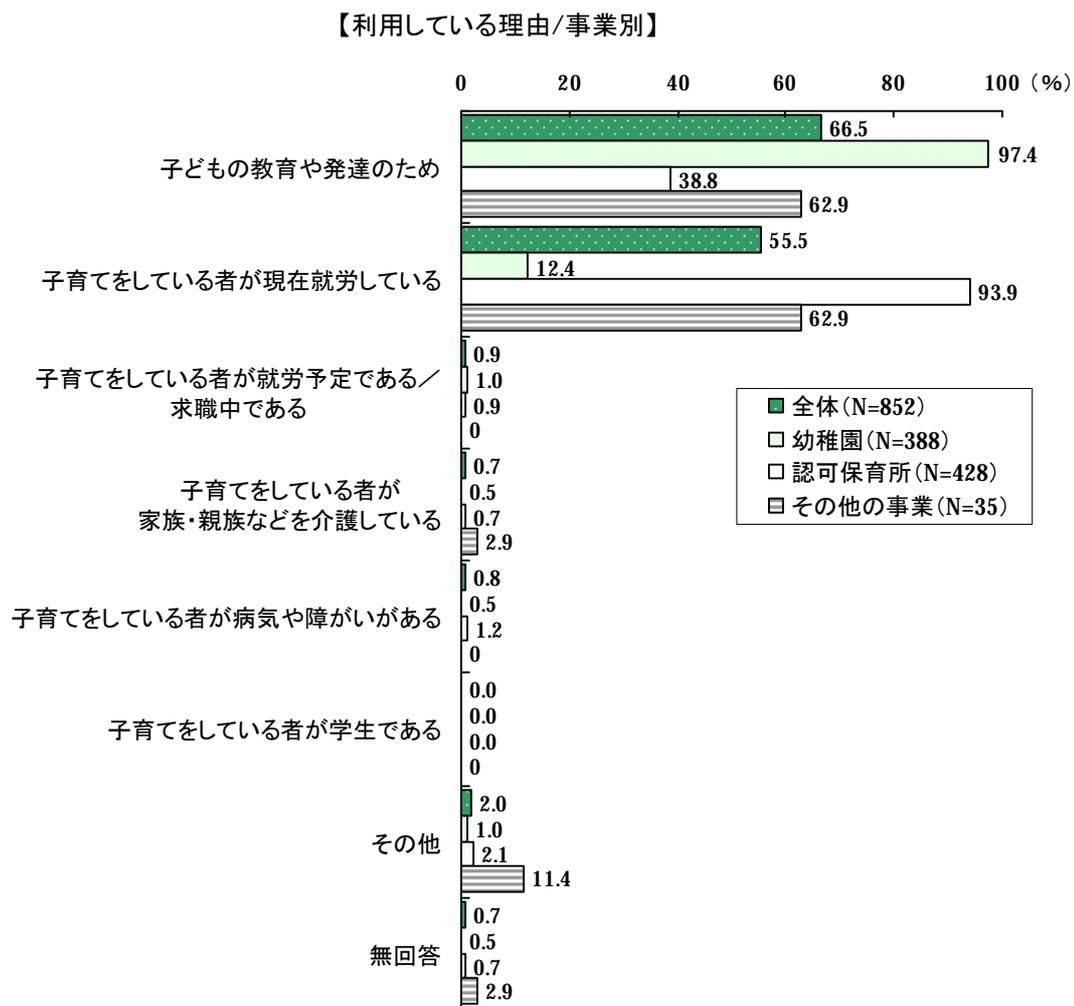
一方、住んでいる小学校区以外の市内である割合は認可保育所では 46.7%、その他の事業では 34.3%となっている。

【利用している事業の実施場所/事業別】



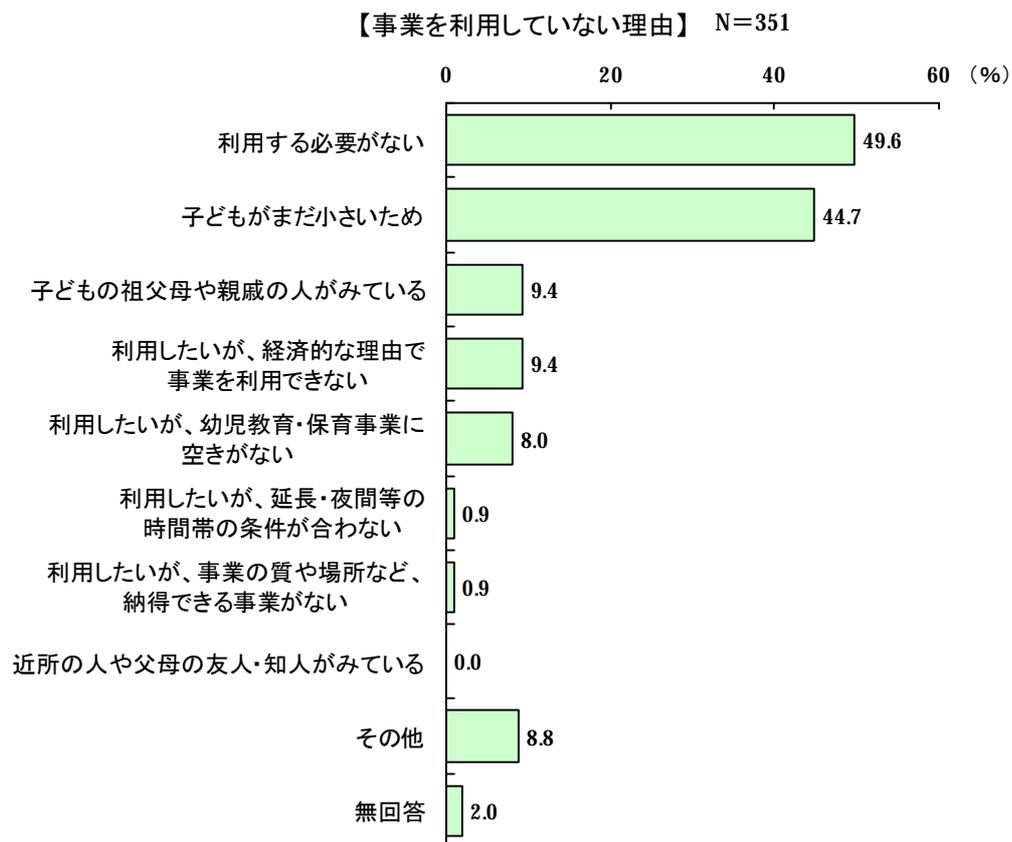
#### (4) 利用している理由

幼稚園では「子どもの教育や発達のため」と回答した割合が 97.4%で最も高く、認可保育所では「子育てをしている者が現在就労している」と回答した割合が 93.9%で最も高くなっている。



## (5) 利用していない理由

「利用する必要がない」、「子どもがまだ小さいため」と回答した割合が高くなっているが、「利用したいが経済的な理由で事業を利用できない」、「利用したいが、幼児教育・保育事業に空きがない」との、利用したいが利用できない回答の割合が約1割ずつある。



## 4 幼稚園・保育所等の利用希望

### (1) 利用したい事業

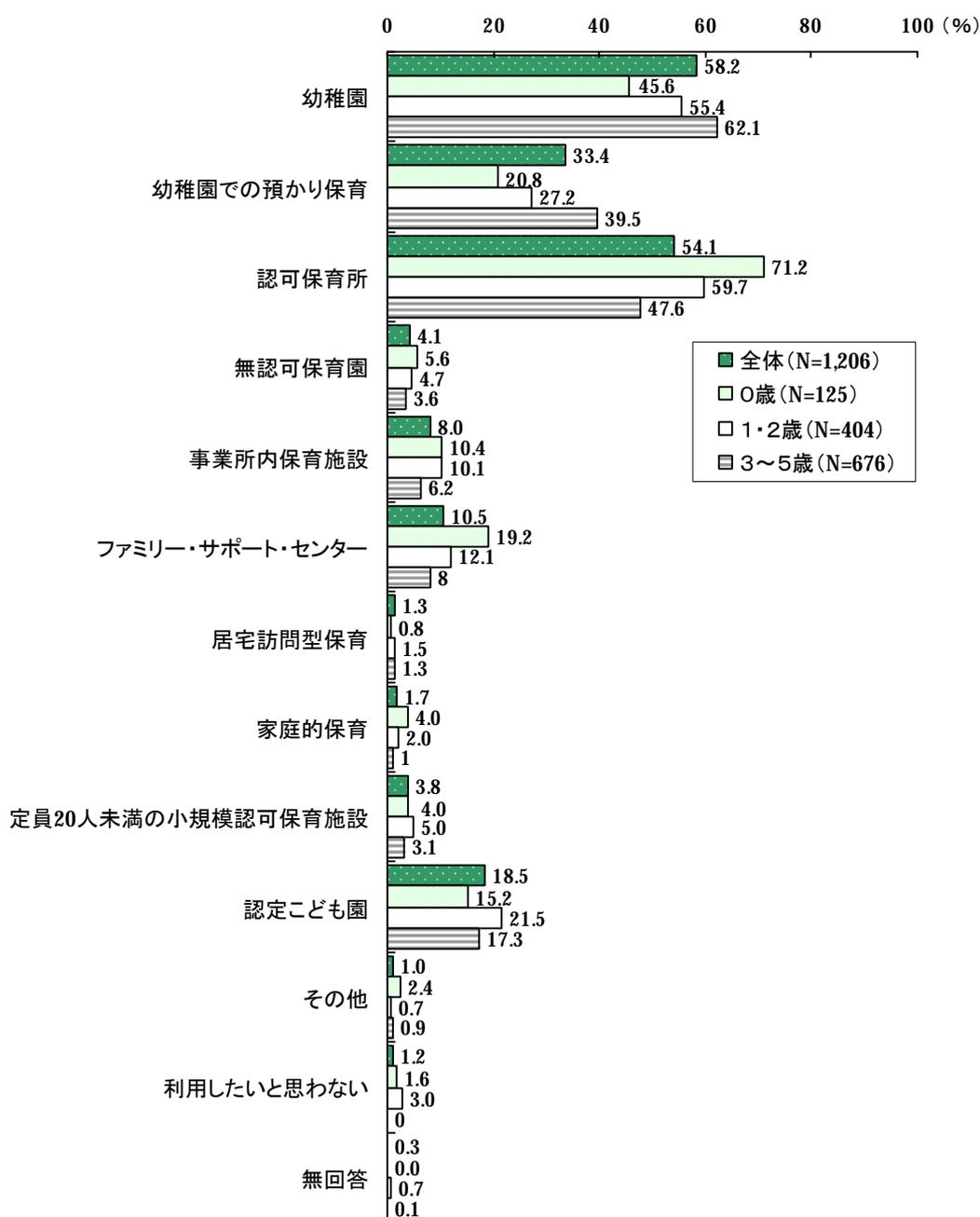
全体では、「幼稚園」が 58.2%、「幼稚園での預かり保育」が 33.4%、「認可保育所」が 54.1%、「認定子ども園」が 18.5%となっている。

年齢区分別にみると、0歳では、「幼稚園」が 45.6%、「幼稚園での預かり保育」が 20.8%、「認可保育所」が 71.2%、「認定子ども園」が 15.2%となっている。

1～2歳では、「幼稚園」が 55.4%、「幼稚園での預かり保育」が 27.2%、「認可保育所」が 59.7%、「認定子ども園」が 21.5%となっている。

3～5歳では、「幼稚園」が 62.1%、「幼稚園での預かり保育」が 39.5%、「認可保育所」が 47.6%、「認定子ども園」が 17.3%となっている。

【利用したい事業(複数回答)/年齢区分別】



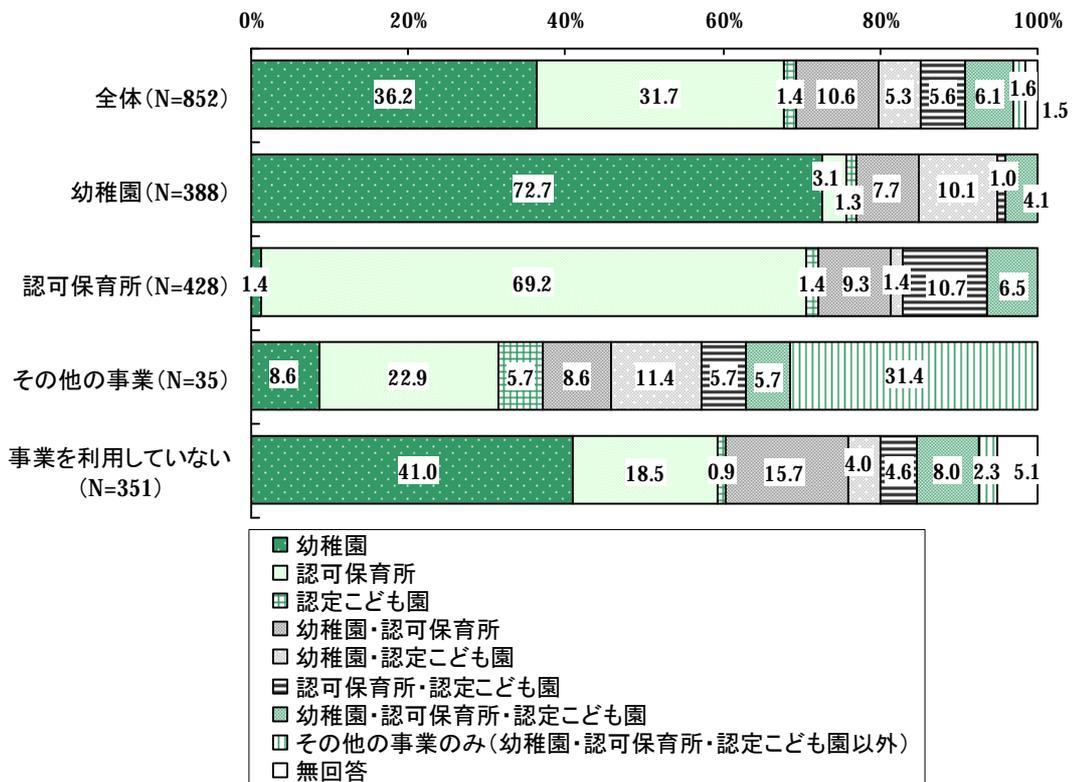
幼稚園を利用している子どものうち、「幼稚園」を利用したい割合は72.7%、「認可保育所」を利用したい割合は3.1%、「認定こども園」を利用したい割合は1.3%、「幼稚園・認定こども園」いずれかを利用したい割合は10.1%となっている。

認可保育所を利用している子どものうち、「認可保育所」を利用したい割合は69.2%、「幼稚園」を利用したい割合は1.4%、「認定こども園」を利用したい割合は1.4%、「認可保育所・認定こども園」のいずれかを利用したい割合は10.7%、「幼稚園・認可保育所」のいずれかを利用したい割合は9.3%となっている。

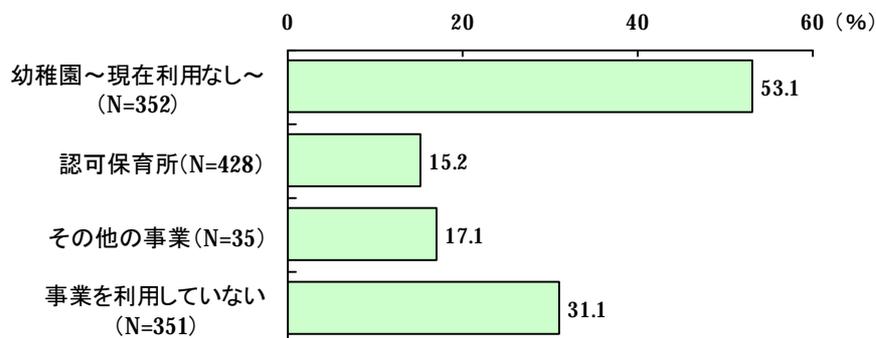
事業を利用していない子どものうち、「幼稚園」を利用したい割合は41.0%、「認可保育所」を利用したい割合は18.5%、「認定こども園」を利用したい割合は0.9%、「幼稚園・認可保育所」のいずれかを利用したい割合は15.7%、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」のいずれかを利用したい割合は4.0%となっている。

幼稚園の預かり保育の利用意向がある割合は、幼稚園を利用して預かり保育を利用していない子どものうち53.1%となっている。

【幼稚園・認可保育所・認定こども園の利用意向/現在の利用状況別】



【幼稚園の預かり保育の利用希望/現在の利用状況別】

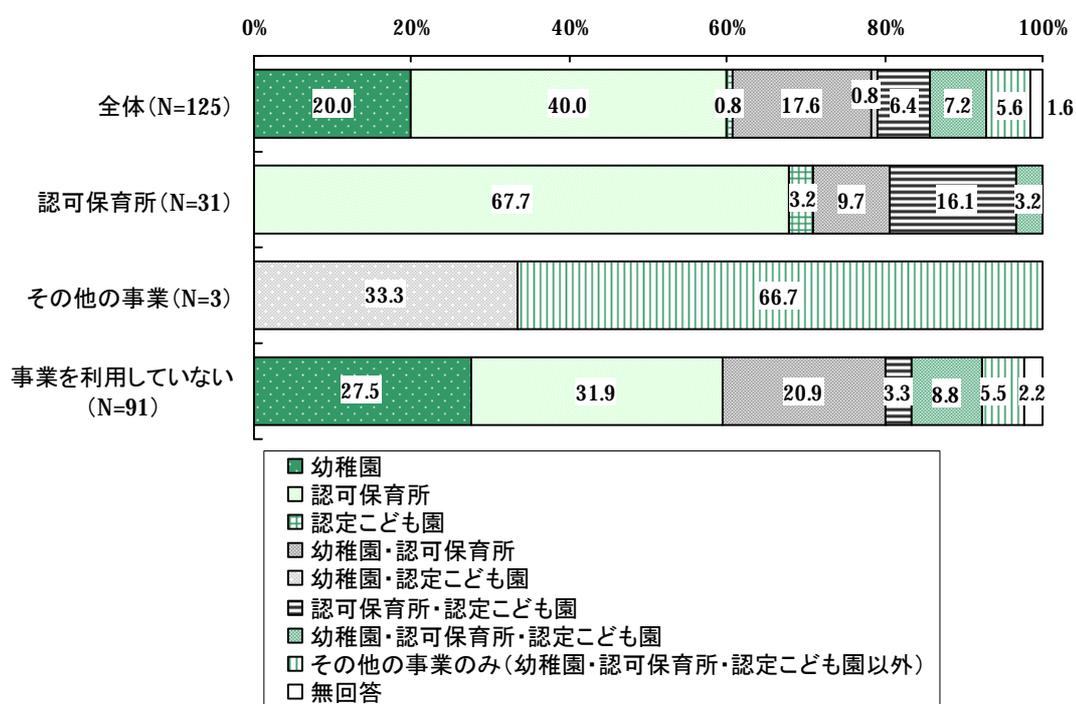


0歳児で認可保育所を利用している子どものうち、「認可保育所」を利用したい割合は67.7%、「認定こども園」を利用したい割合は3.2%、「認可保育所・認定こども園」のいずれかを利用したい割合は16.1%、「幼稚園・認可保育所」のいずれかを利用したい割合は9.7%となっている。

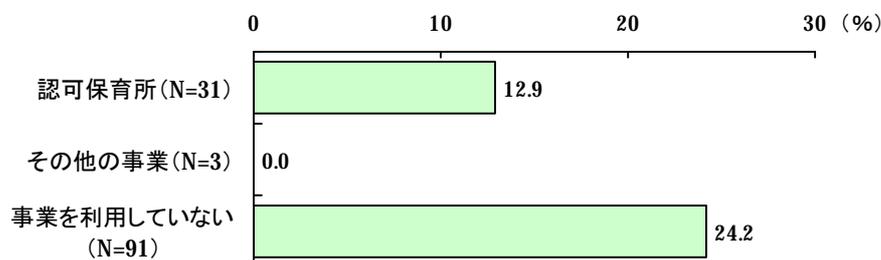
0歳児で事業を利用していない子どものうち、「幼稚園」を利用したい割合は27.5%、「認可保育所」を利用したい割合は31.9%、「幼稚園・認可保育所」のいずれかを利用したい割合は20.9%、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」のいずれかを利用したい割合は8.8%となっている。

幼稚園の預かり保育の利用意向がある割合は、事業を利用していない子どものうち24.2%となっている。

【(0歳)幼稚園・認可保育所・認定こども園の利用意向/現在の利用状況別】



【(0歳)幼稚園の預かり保育の利用希望/現在の利用状況別】



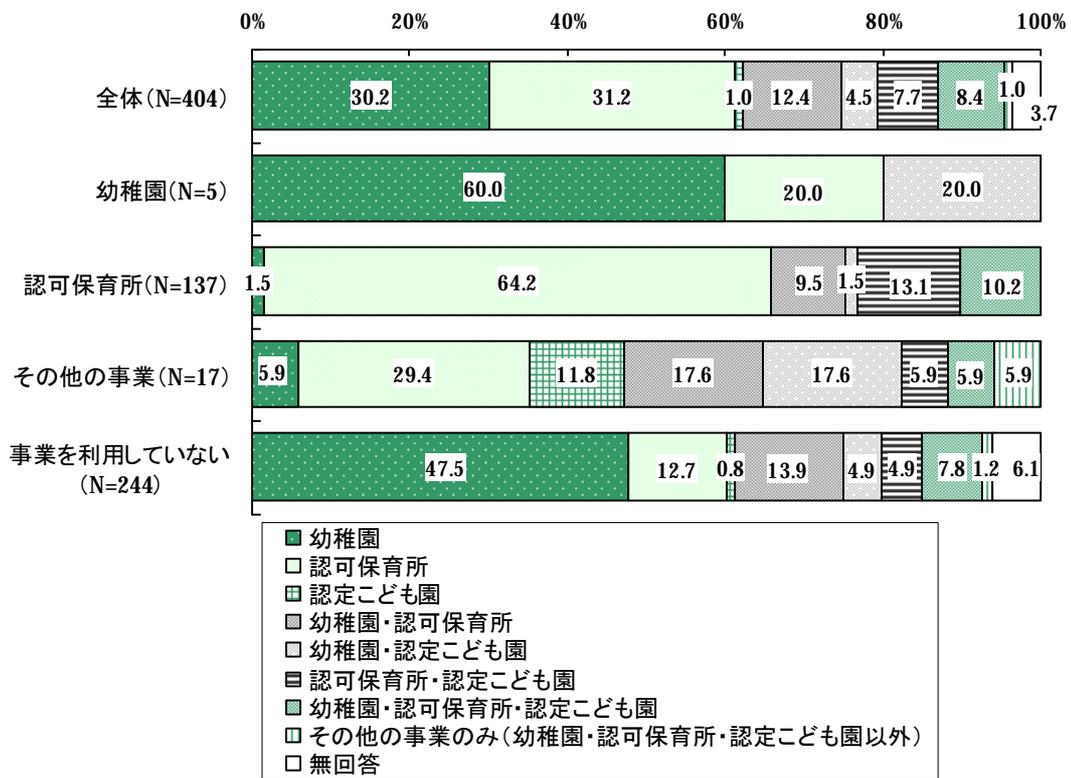
1・2歳児で幼稚園を利用している子どものうち、「幼稚園」を利用したい割合は**60.0%**、「認可保育所」を利用したい割合は**20.0%**、「幼稚園・認定こども園」いずれかを利用したい割合は**20.0%**となっている。

1・2歳児で認可保育所を利用している子どものうち、「認可保育所」を利用したい割合は**64.2%**、「幼稚園」を利用したい割合は**1.5%**、「認可保育所・認定こども園」のいずれかを利用したい割合は**13.1%**、「幼稚園・認可保育所」のいずれかを利用したい割合は**9.5%**となっている。

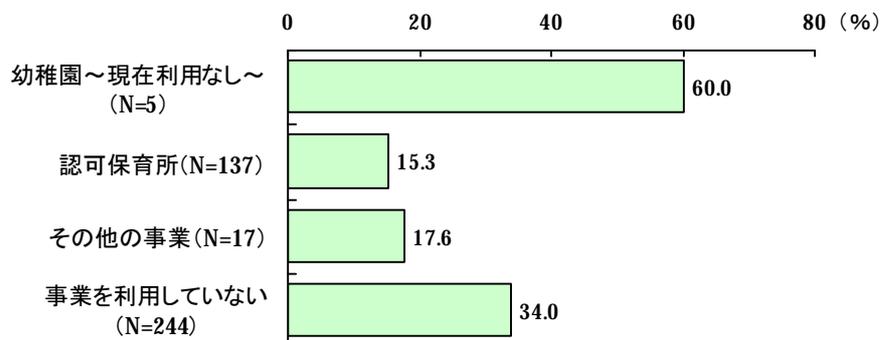
1・2歳児で事業を利用していない子どものうち、「幼稚園」を利用したい割合は**47.5%**、「認可保育所」を利用したい割合は**12.7%**、「認定こども園」を利用したい割合は**0.8%**、「幼稚園・認可保育所」のいずれかを利用したい割合は**13.9%**、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」のいずれかを利用したい割合は**7.8%**となっている。

幼稚園の預かり保育の利用意向がある割合は、事業を利用していない子どものうち**34.0%**となっている。

【(1・2歳)幼稚園・認可保育所・認定こども園の利用意向/現在の利用状況別】



【(1・2歳)幼稚園の預かり保育の利用希望/現在の利用状況別】



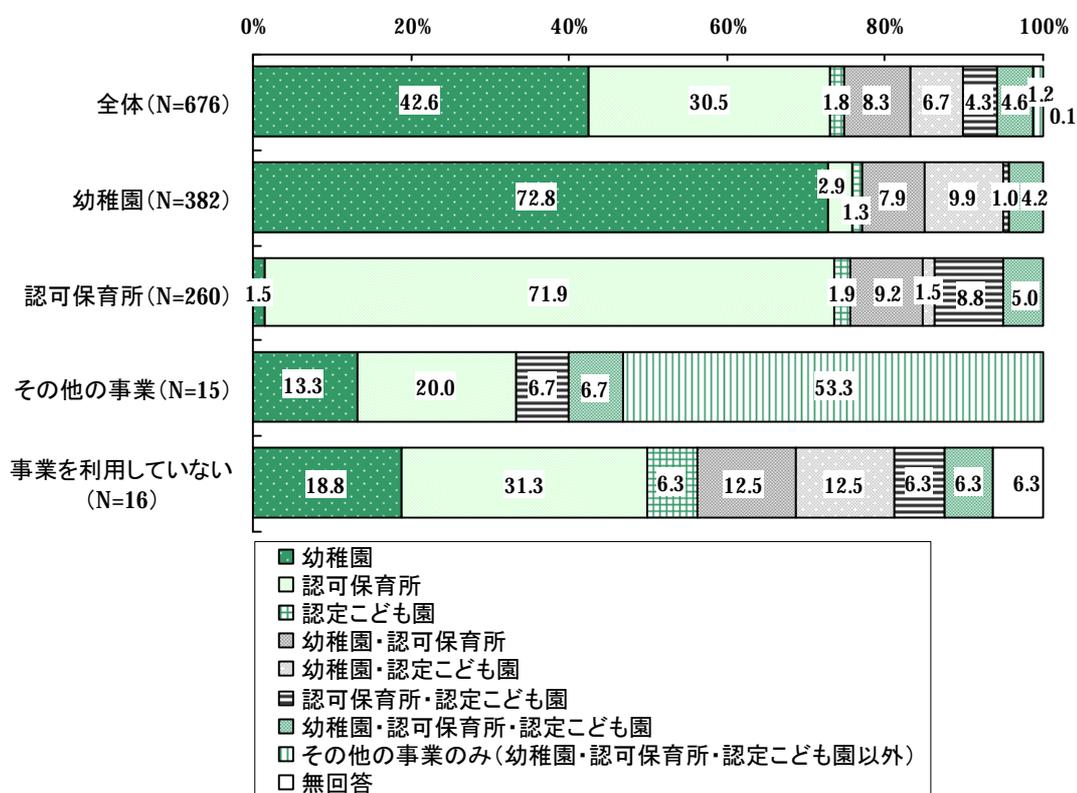
3～5歳児で幼稚園を利用している子どものうち、「幼稚園」を利用したい割合は72.8%、「認可保育所」を利用したい割合は2.9%、「認定こども園」を利用したい割合は1.3%、「幼稚園・認定こども園」いずれかを利用したい割合は9.9%、「幼稚園・認可保育所」いずれかを利用したい割合は7.9%となっている。

3～5歳児で認可保育所を利用している子どものうち、「認可保育所」を利用したい割合は71.9%、「幼稚園」を利用したい割合は1.5%、「認定こども園」を利用したい割合は1.9%、「幼稚園・認可保育所」のいずれかを利用したい割合は9.2%、「認可保育所・認定こども園」のいずれかを利用したい割合は8.8%となっている。

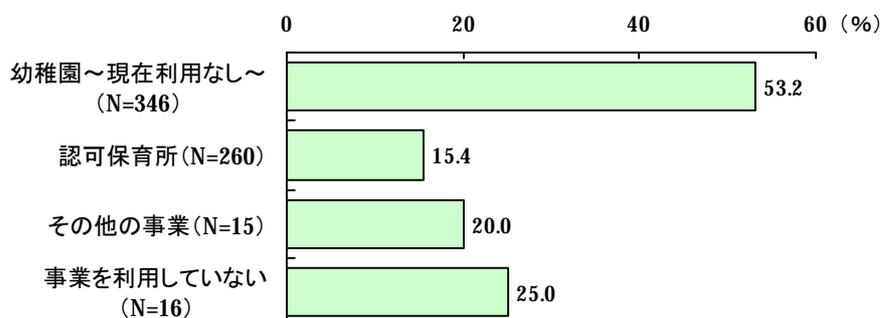
3～5歳児で事業を利用していない子どものうち、「幼稚園」を利用したい割合は18.8%、「認可保育所」を利用したい割合は31.3%、「認定こども園」を利用したい割合は6.3%、「幼稚園・認可保育所」のいずれかを利用したい割合は12.5%、「幼稚園・認定こども園」のいずれかを利用したい割合は12.5%となっている。

幼稚園の預かり保育の利用意向がある割合は、幼稚園を利用して預かり保育を利用していない子どものうち53.2%となっている。

【(3～5歳)幼稚園・認可保育所・認定こども園の利用意向/現在の利用状況別】



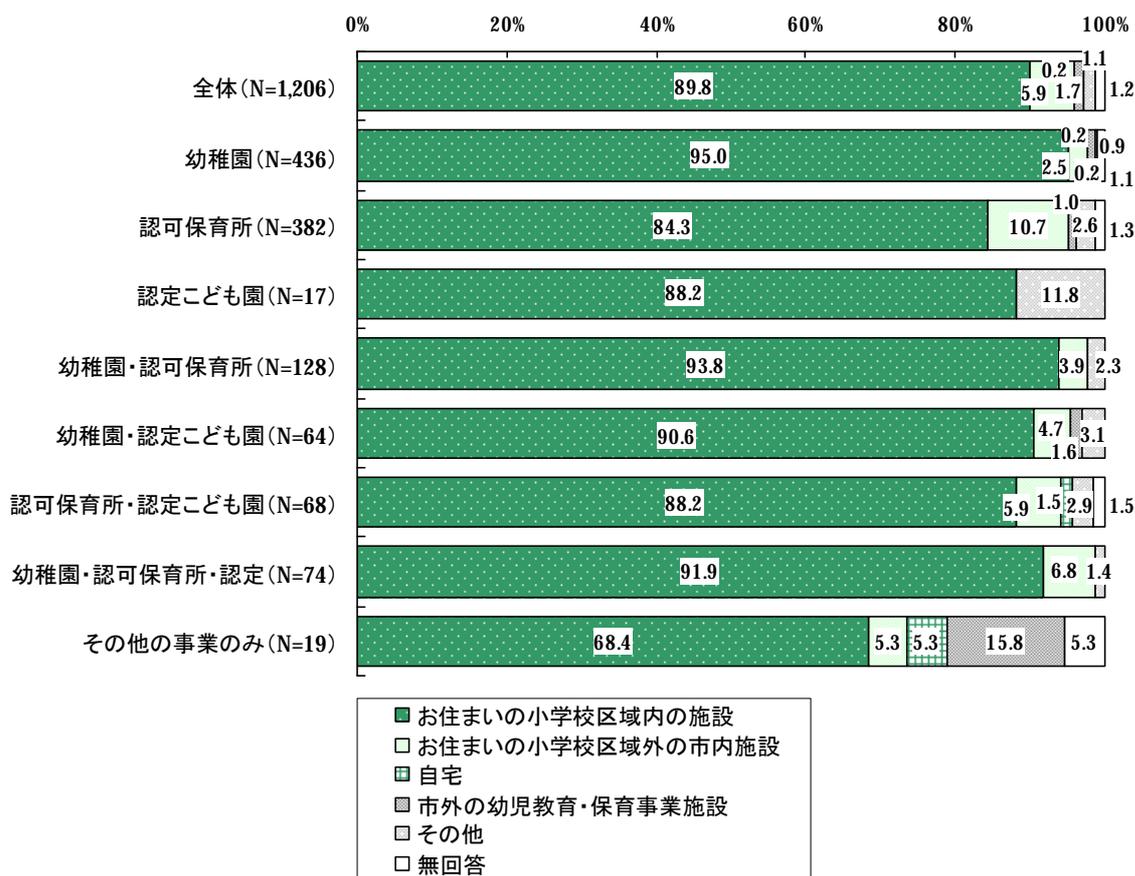
【(3～5歳)幼稚園の預かり保育の利用希望/現在の利用状況別】



## (2) 利用したい事業の実施場所

「お住まいの小学校区内の施設」と回答した割合は、「認可保育所」、「その他の事業のみ」で低くなっている。

【利用したい事業の実施場所】



## (3) 事業を選択する際に重視すること

「居住地に近い場所」と回答した割合は「幼稚園」で最も高く 87.4%、「勤務先の近く・通勤に便利な場所」と回答した割合は「認可保育所」で最も高く 33.0%、「教育・保育の方針・内容」と回答した割合は「幼稚園・認可保育所・認定こども園」で 45.9%で最も高くなっている。

【事業を選ぶ際に重視すること/事業別】

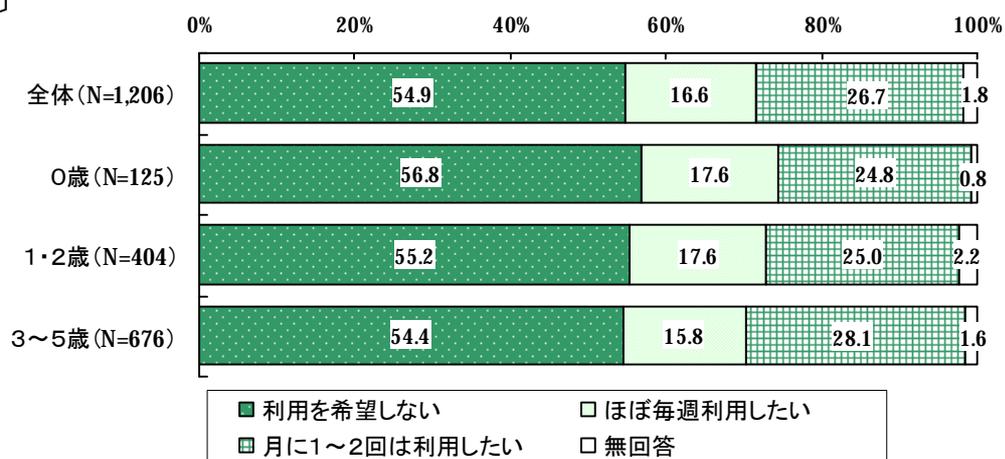
	回答数	居住地に近い場所	勤務先に近い場所・通勤	育延など保育や機休日保	針教育・内容・保育の方	士幼稚園などの教諭、保育	利用料金の安さ	その他	無回答
全体	1206	73.2	17.6	15.8	29.8	34.8	14.4	1.7	0.7
幼稚園	436	87.4	3.9	8.5	24.1	32.6	17.2	2.1	0.2
認可保育所	382	65.4	33.0	20.7	32.2	28.8	9.4	1.8	0.8
認定こども園	17	64.7	11.8	11.8	41.2	58.8	-	5.9	-
幼稚園・認可保育所	128	70.3	20.3	21.1	25.8	41.4	17.2	0.8	-
幼稚園・認定こども園	64	65.6	14.1	10.9	37.5	48.4	20.3	1.6	-
認可保育所・認定こども園	68	64.7	23.5	30.9	38.2	36.8	13.2	1.5	-
幼稚園・認可保育所・認定こども園	74	51.4	17.6	20.3	45.9	52.7	14.9	-	-
その他の事業のみ(幼稚園)	19	73.7	10.5	10.5	21.1	26.3	21.1	-	5.3

#### (4) 土曜日・休日の事業の利用希望

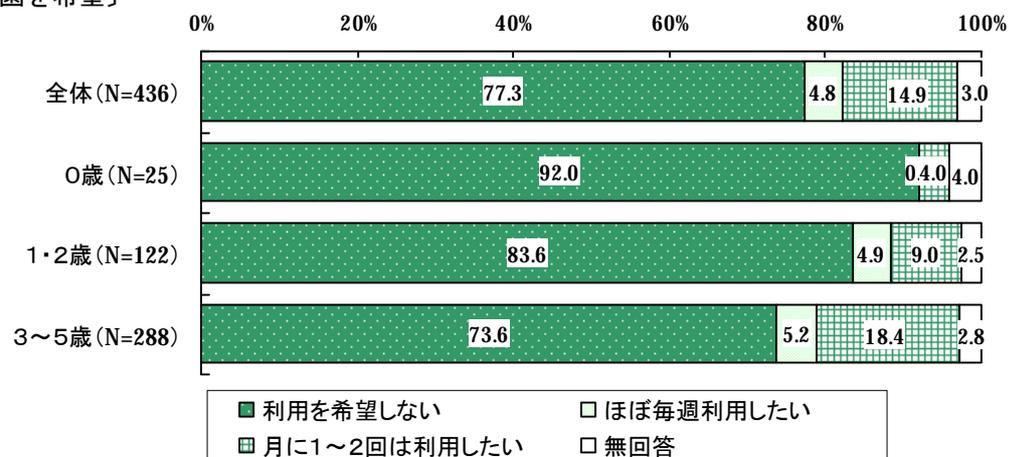
土曜日の事業の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」と回答した割合は全体で16.6%、幼稚園を希望する3～5歳で5.2%、認可保育所を希望する子ども全体で27.5%となっている。

【土曜日の事業の利用希望】

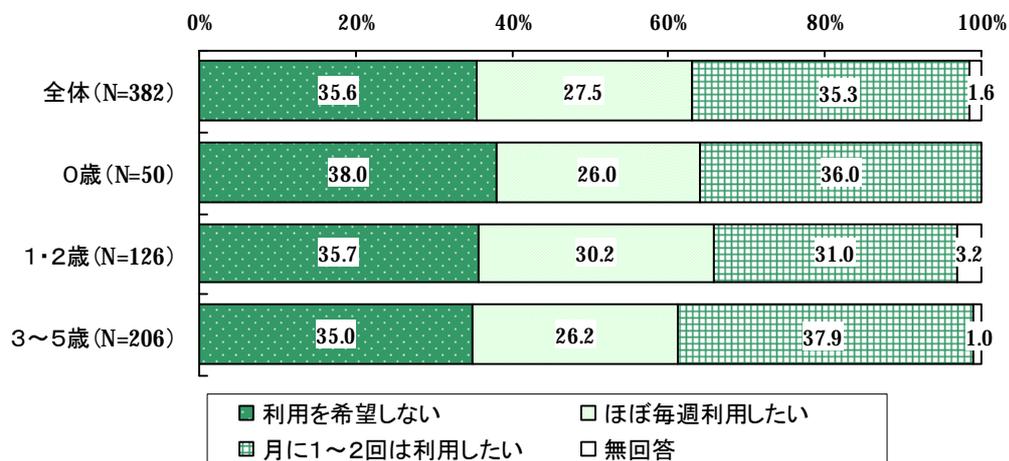
〔全体〕



〔幼稚園を希望〕

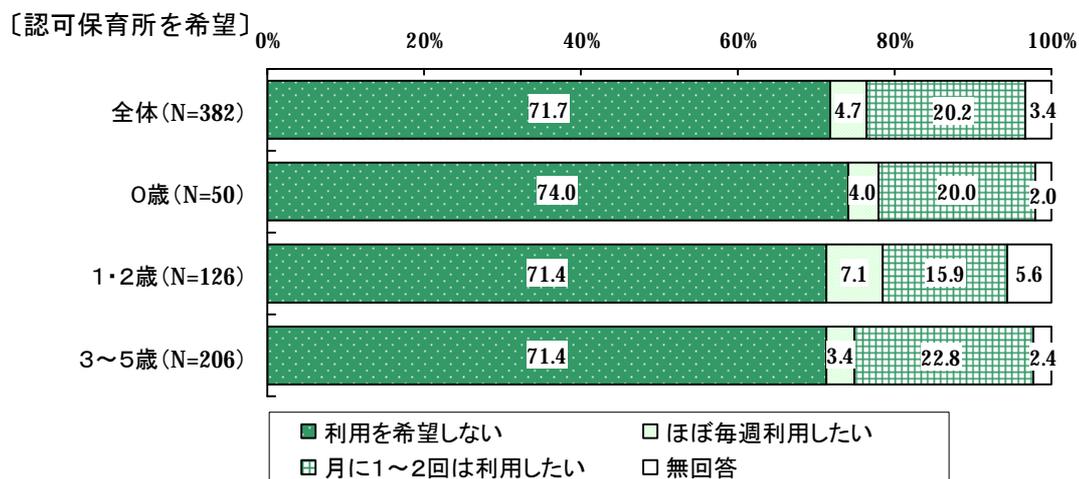
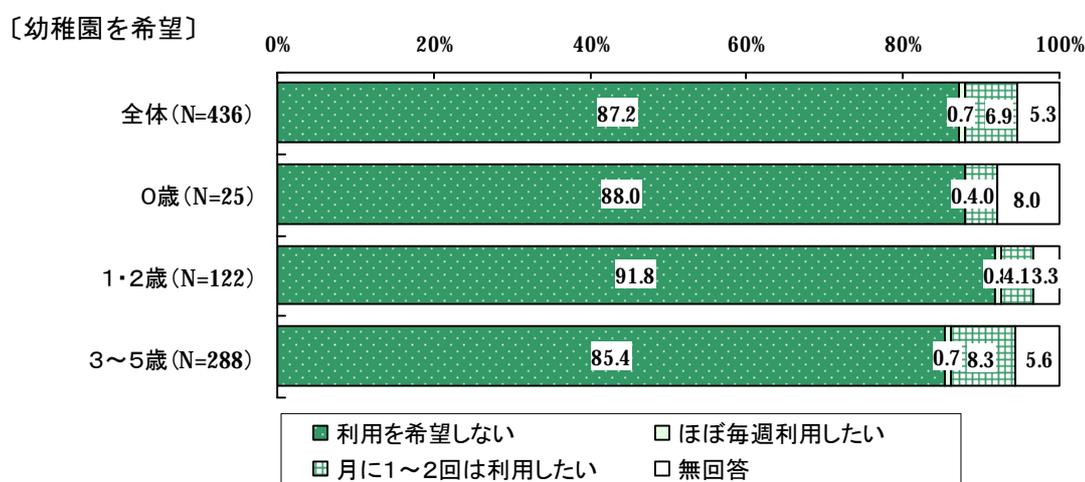
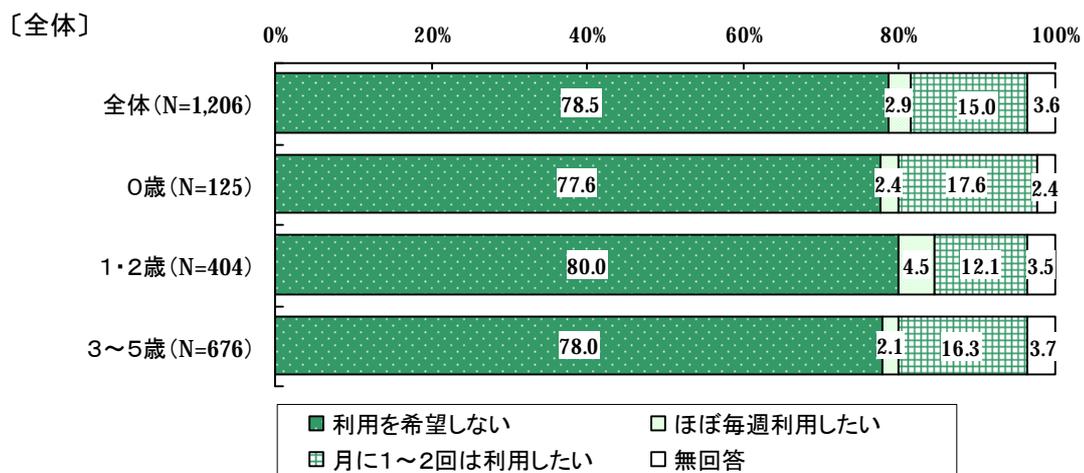


〔認可保育所を希望〕



日曜日・祝日の事業の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」と回答した割合は全体で2.9%、幼稚園を希望する3～5歳で0.7%、認可保育所を希望する子ども全体で4.7%となっている。

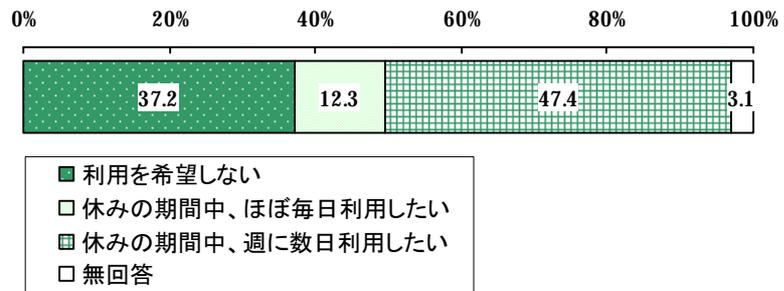
【日曜日・祝日の事業の利用希望】



(5) 長期休暇期間中の利用希望（幼稚園を利用している人）

長期休暇中の利用希望は、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」との回答は 12.3%、「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した割合が 47.4%となっている。

【長期休暇中の事業の利用希望/幼稚園を利用している子ども】 N=382



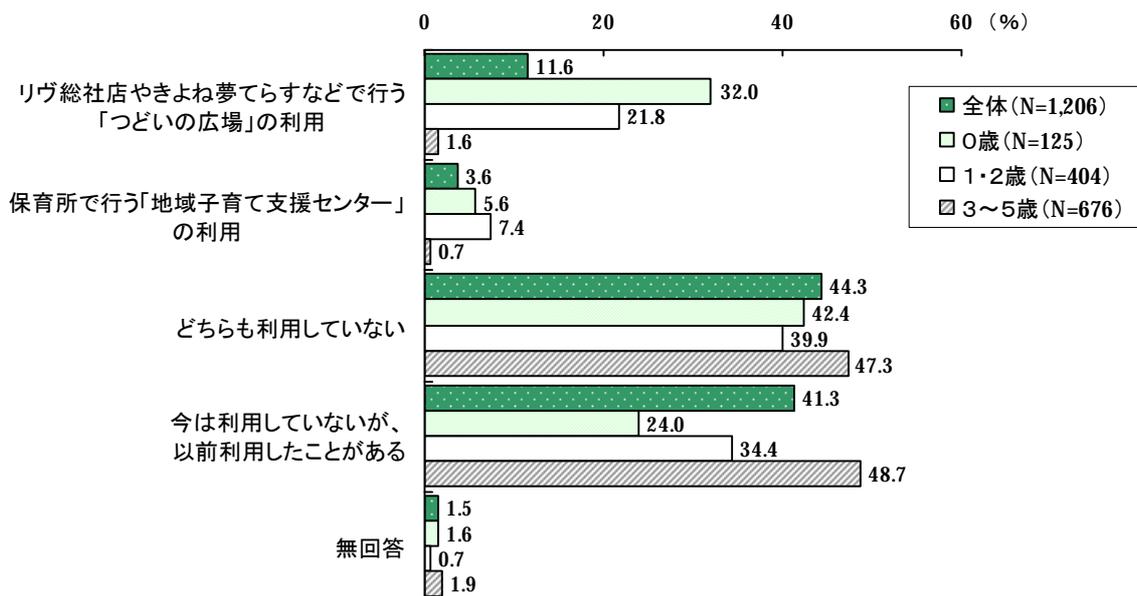
## 5 地域子育て支援拠点事業の利用希望

### (1) 子育て支援センター等の現在の利用状況

年齢区分別にみると、「つどいの広場」を利用している割合は、0歳で32.0%、1・2歳で21.8%、保育所で行う「地域子育てセンター」を利用している割合は、0歳で5.6%、1・2歳で7.4%となっている。

一方、「今は利用していないが、以前利用したことがある」と回答した割合は3～5歳では48.7%となっている。

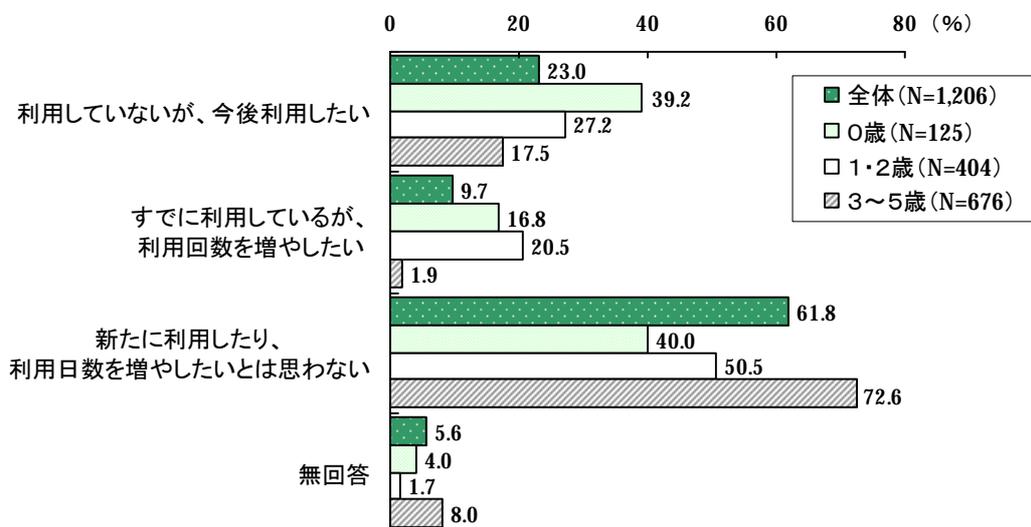
【子育て支援センター等の利用状況/年齢区分別】



### (2) 子育て支援センター等の利用希望

年齢区分別にみると、「利用していないが、今後利用したい」と回答した割合は、0歳で39.2%、1・2歳で27.2%、3～5歳で17.5%となっている。

【子育て支援センター等の利用希望/年齢区分別】

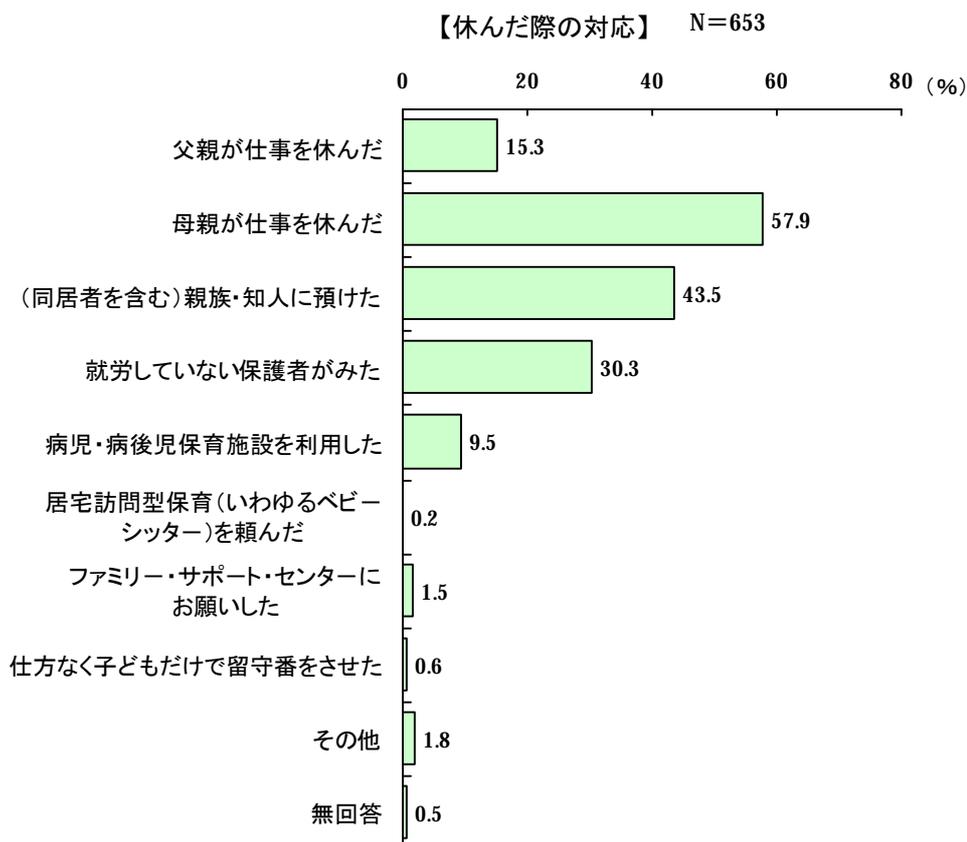
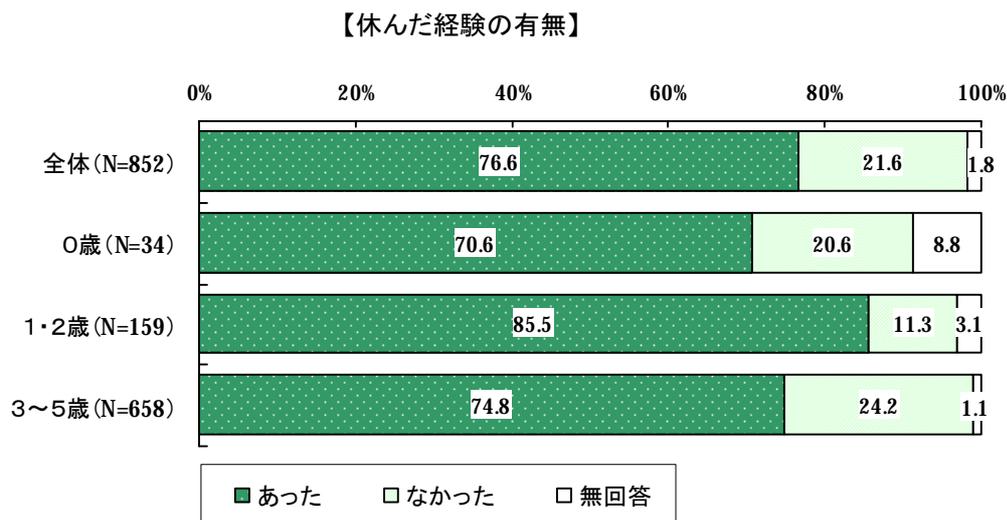


## 6 病児・病後児保育の利用希望

### (1) 子どもの病気などで幼稚園・保育所等を休んだ際の対応

幼稚園や認可保育所等を利用している子どものうち、1年以内に病気などで、幼稚園や保育所を休んだ経験が「あった」と回答した割合は76.6%となっている。

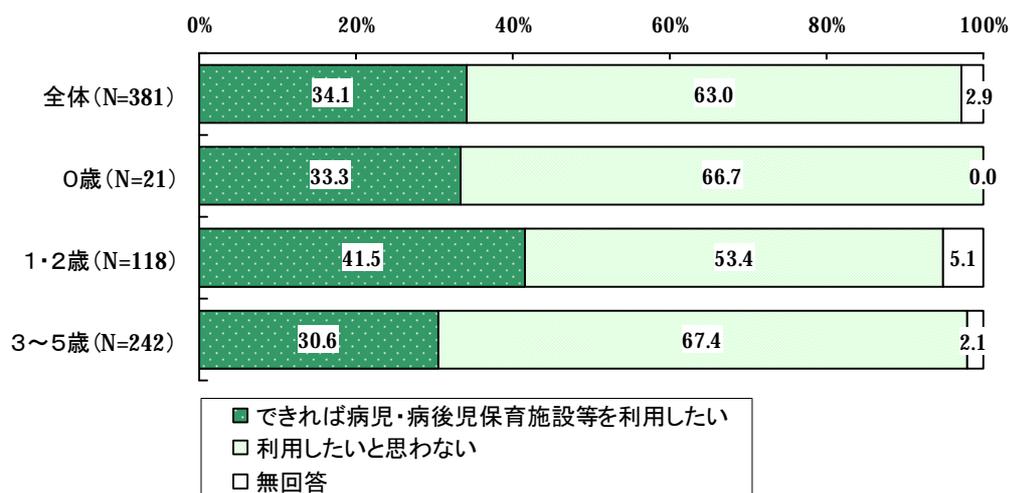
その際の対応として、「母親が仕事を休んだ」と回答した割合が57.9%、「父親が仕事を休んだ」と回答した割合が15.3%となっている。



## (2) 病児・病後児保育の利用希望

父親、母親が仕事を休んで対応した世帯のうち、「病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した割合は全体で34.1%、0歳児で33.3%、1・2歳児で41.5%、3～5歳で30.6%となっている。

【病児・病後児保育の利用希望/父親・母親が休んだ経験がある世帯】

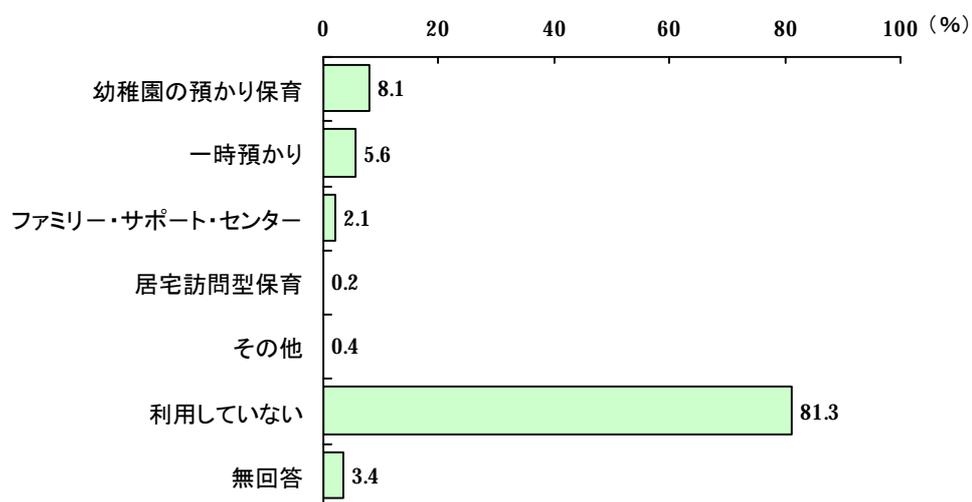


## 7 一時的な保育の利用希望

### (1) 日中の一時的な保育の利用状況

「幼稚園の預かり保育」を利用した割合が8.1%、「一時預かり」を利用した割合が5.6%、「ファミリー・サポート・センター」を利用した割合が2.1%となっている。

【日中の一時的な事業の利用状況】 N=1,206

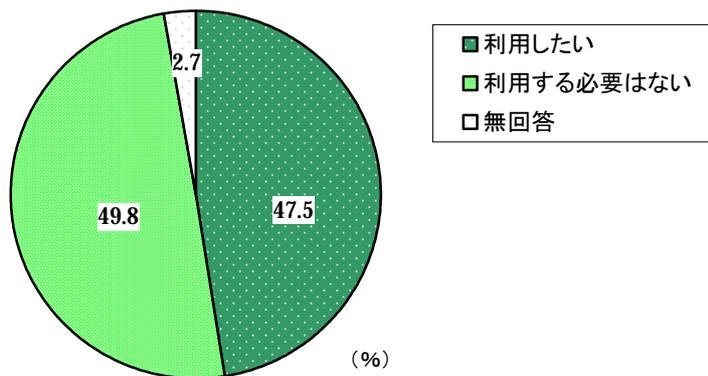


## (2) 日中の一時的な保育の利用希望

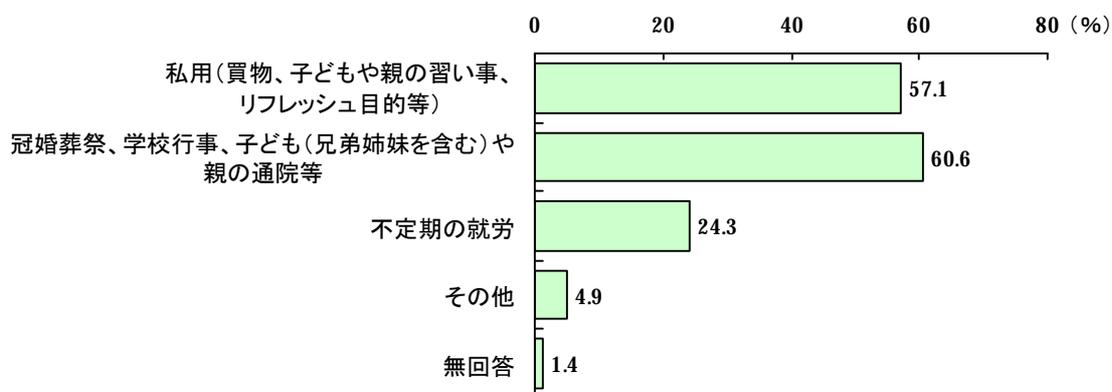
利用希望がある割合は 47.5%となっている。

利用希望がある世帯の利用を希望する理由は、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」の割合が 60.6%、「私用（買物、子どもや親の習い事、リフレッシュ目的等）」の割合が 57.1%となっている。

【一時的な保育事業の利用希望】 N=1,206



【一時的な保育事業の利用希望理由】 N=573

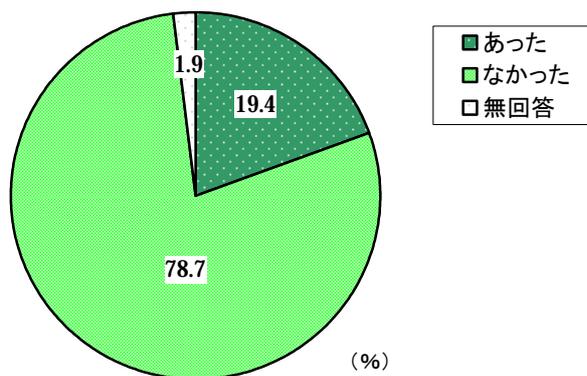


### (3) 泊りがけで子どもを預けなければならなかった際の対応

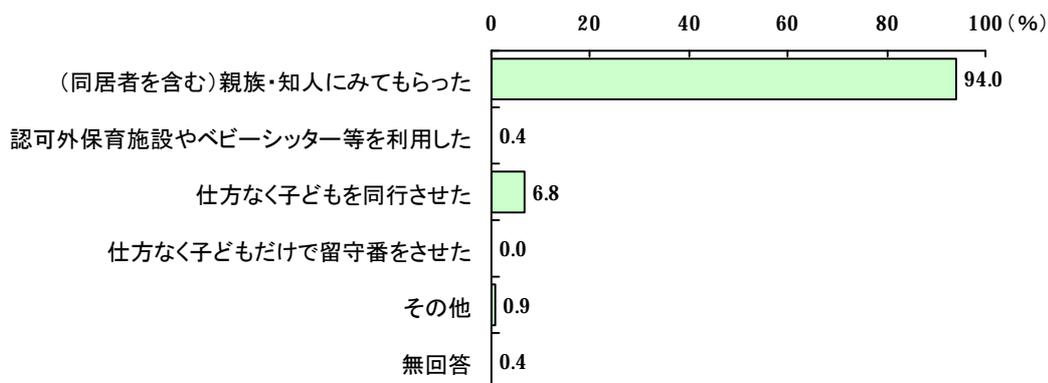
1年以内に泊りがけで子どもを預けなければならなかった経験が「あった」と回答した割合は19.4%となっている。

その際の対応として、「親族・知人にみてもらった」と回答した割合が94.0%となっており、預けることが「非常に頼みづらかった」と回答した割合が7.3%、「どちらかというとな頼みづらかった」と回答した割合が31.8%となっている。

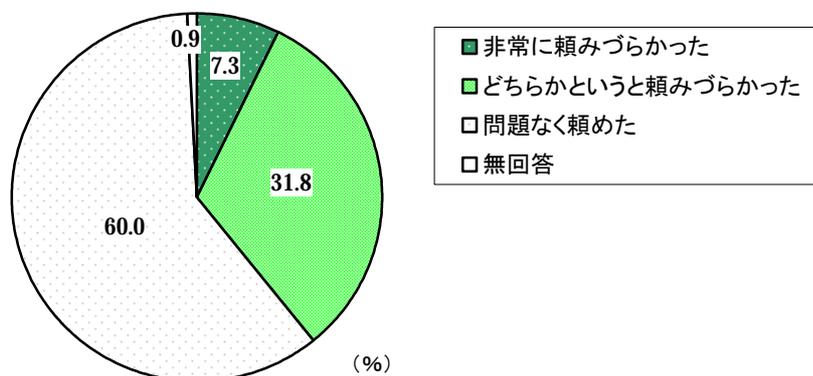
【泊りがけで子どもを預けなければならなかった経験の有無】 N=1,206



【泊りがけで預けなければならなかった際の対応】 N=234



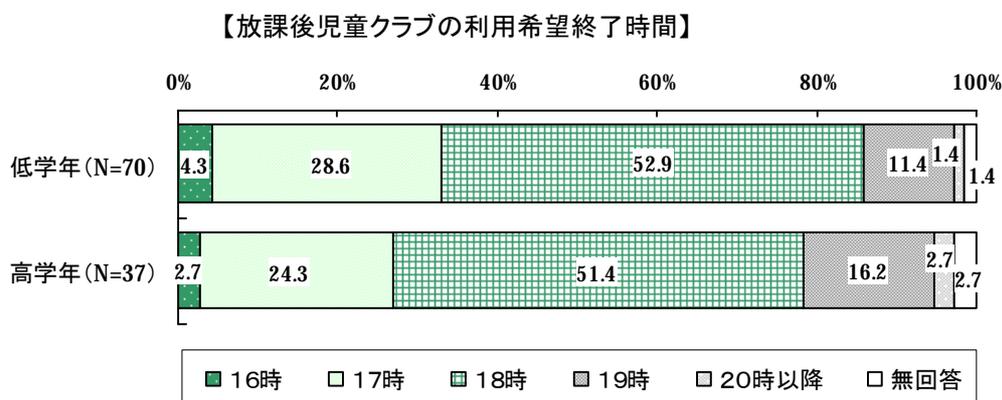
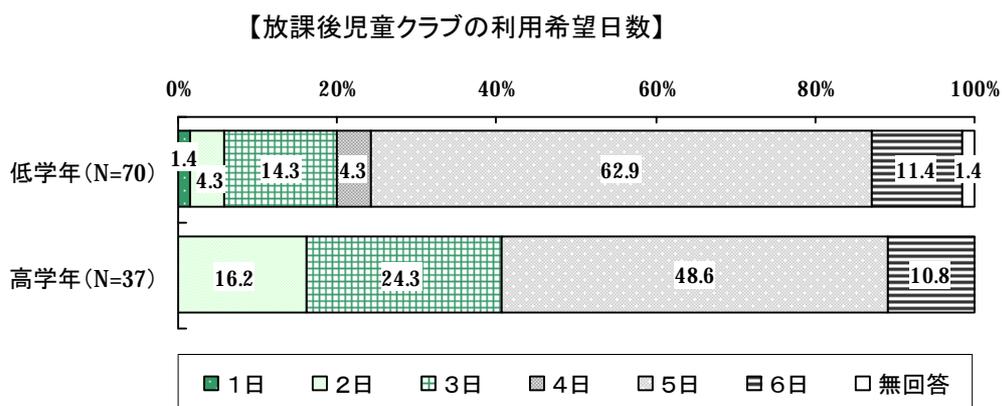
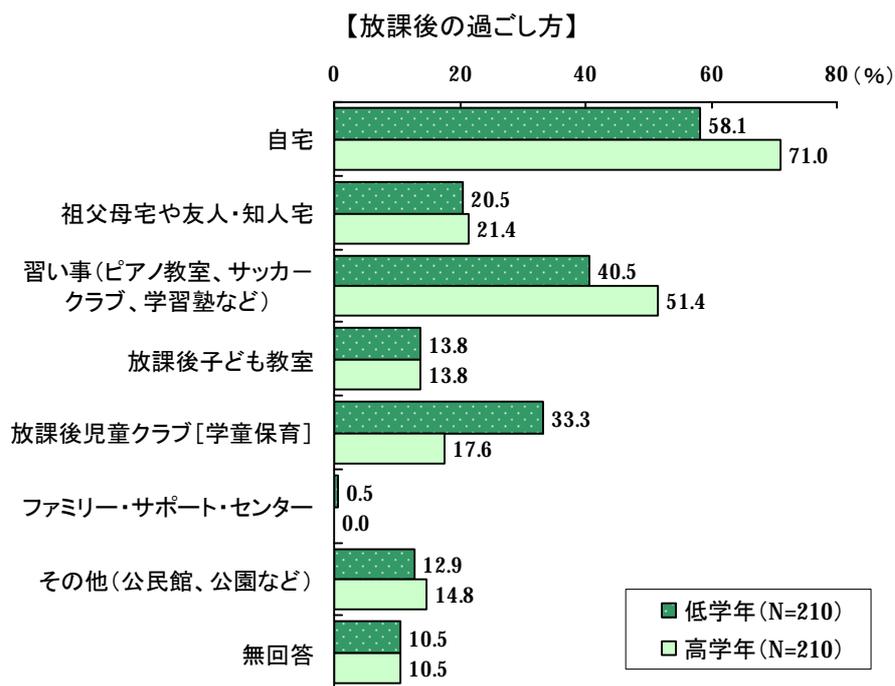
【親族・知人にみてもらった際の状況】 N=220



## 8 小学校就学後の放課後の過ごし方

小学校就学後の放課後の過ごし方として、「放課後児童クラブ」と回答した割合は、低学年の時期で 33.3%、高学年の時期で 17.6% となっている。

利用希望日数は週あたり 5 日、利用希望終了時間は 18 時と回答した割合が高くなっている。

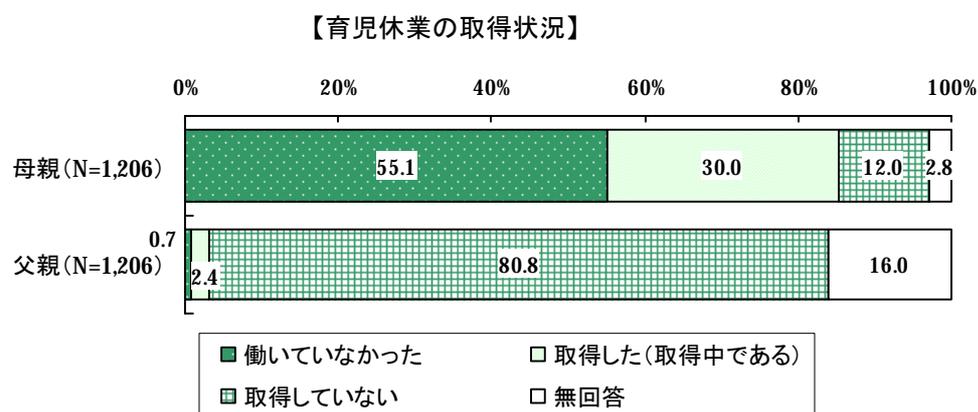


## 9 育児休業の取得状況

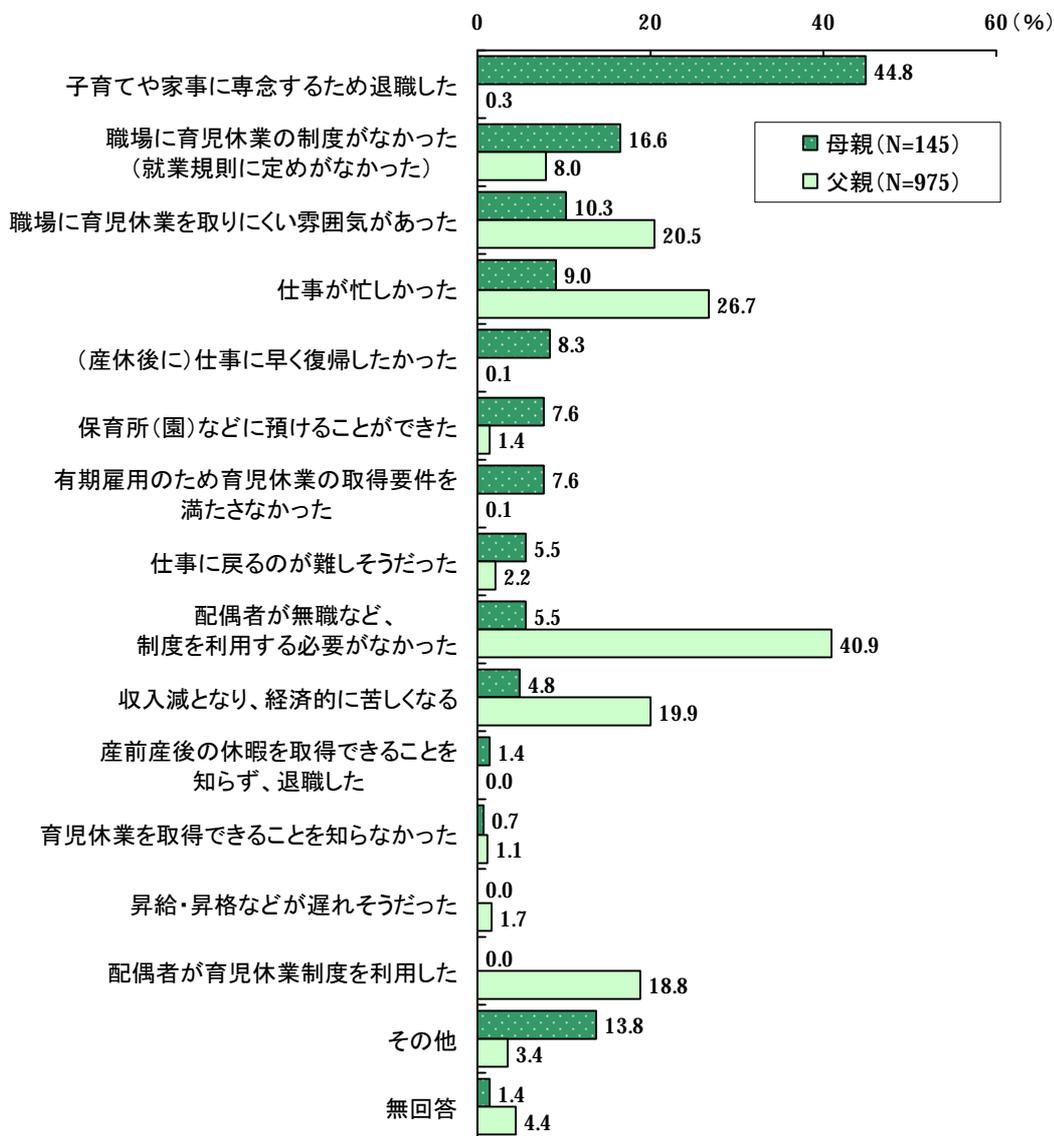
育児休業を「取得した（取得中である）」と回答した割合は、母親で 30.0%、父親で 2.4%となっている。

取得しなかった理由は、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」と回答した割合が最も高く 44.8%であり、続いて「職場に育児休業制度がなかった」、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が続いている。

父親は、「配偶者が無職など、制度を利用する必要がなかった」と回答した割合が最も高く 40.9%であり、続いて「仕事が忙しかった」、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が続いている。



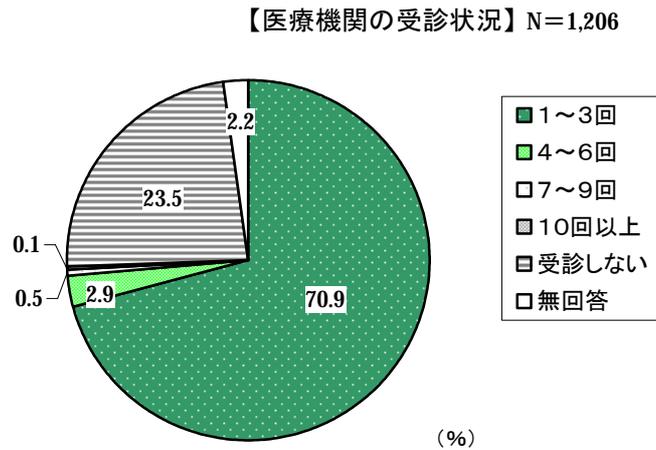
【育児休業を取得していない理由】



## 10 小児医療費

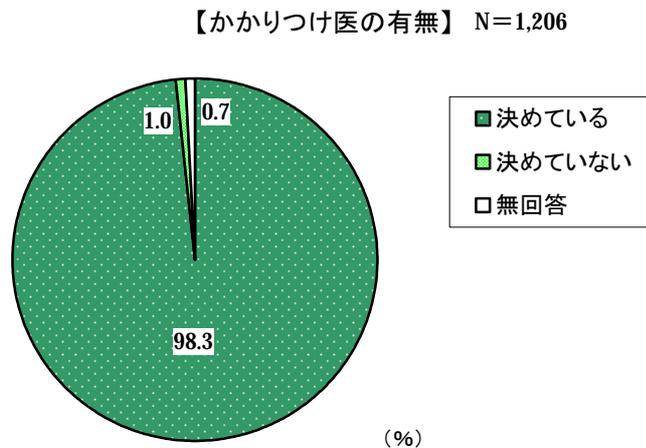
### (1) 医療機関の受診状況

1 カ月当たり医療機関の受診頻度は、「1～3回」と回答した割合が **70.9%** で最も高く、「受診しない」との回答が **23.5%** となっている。



### (2) かかりつけ医の有無

かかりつけ医を「決めている」と回答した割合は **98.3%** となっている。

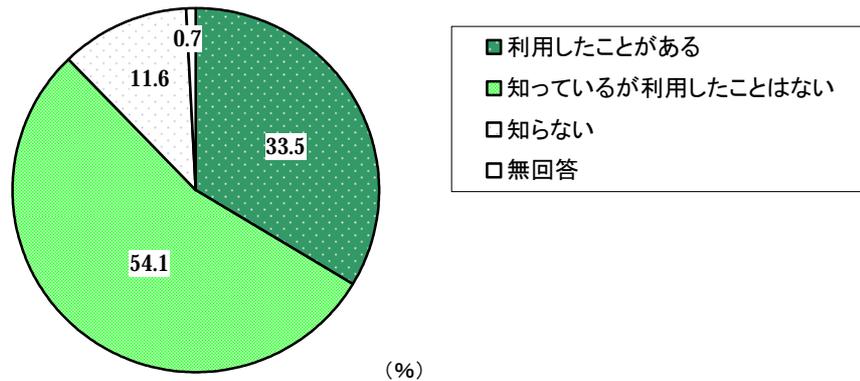


### (3) 小児救急医療電話相談の利用状況

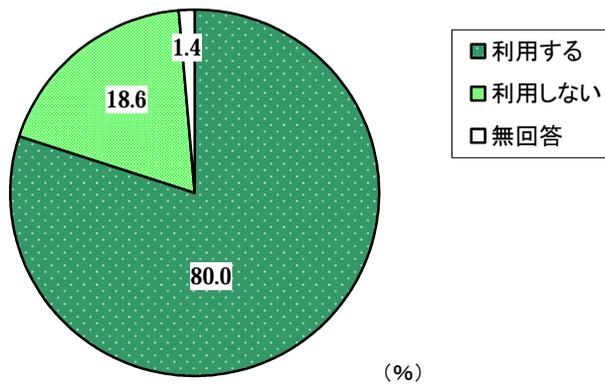
「利用したことがある」と回答した割合は 33.5%、「知らない」との回答した割合が 11.6%となっている。

小児救急医療電話相談を知らない世帯のうち、知っていたら「利用する」と回答した割合が 80.0%となっている。

【小児救急医療電話相談の利用状況】 N=1,206



【小児救急医療電話相談の利用意向/知らない世帯】 N=140



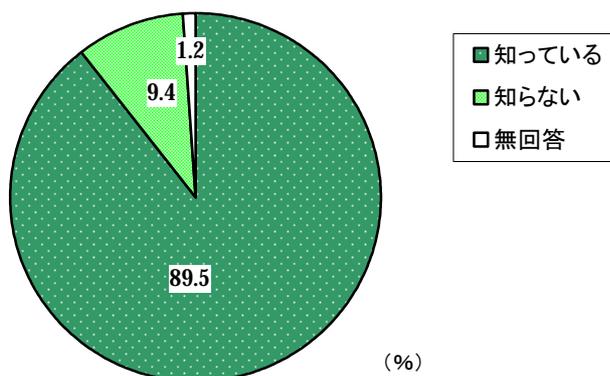
#### (4) ジェネリック医薬品の利用について

ジェネリック医薬品を「知っている」と回答した割合は、**89.5%**となっている。

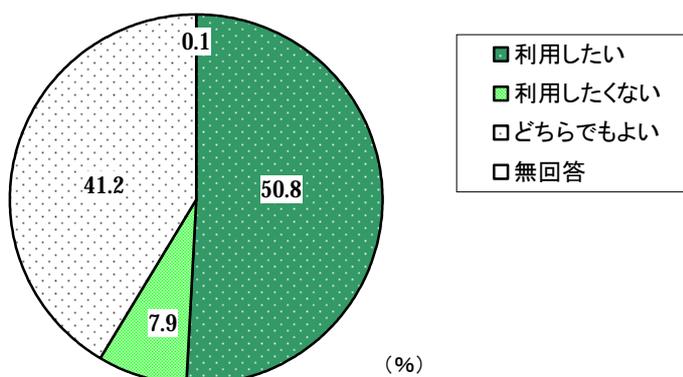
「知っている」世帯のうち、「利用したい」と回答した割合は**50.8%**となっている。

「利用したい」、「どちらでもよい」と回答した世帯の、利用しない理由として、「医師が勧めないため」と回答した割合が**43.8%**で最も高く、続いて「利用の仕方がわからない」が続いている。

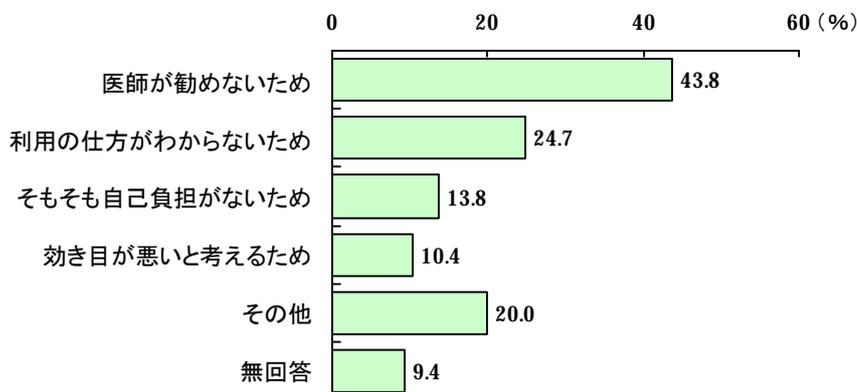
【ジェネリック医薬品の認知状況】 N=1,206



【ジェネリック医薬品の利用意向/知っている世帯】 N=1,079



【ジェネリック医薬品を利用しない理由/利用したくない・どちらでもよい世帯】 N=530



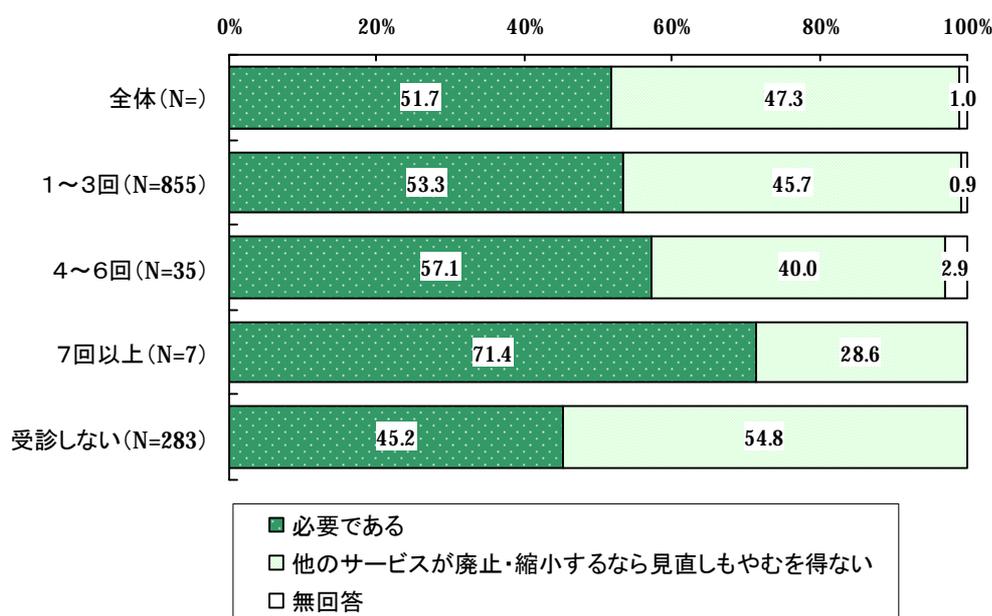
### (5) 小児医療無償化維持の必要性

他の子育て支援サービスを廃止、縮小せざるを得ない場合があっても、小児医療無償化を「必要である」と回答した割合は全体で51.7%、「他のサービスが廃止・縮小するなら見直しもやむを得ない」と回答した割合が47.3%となっている。

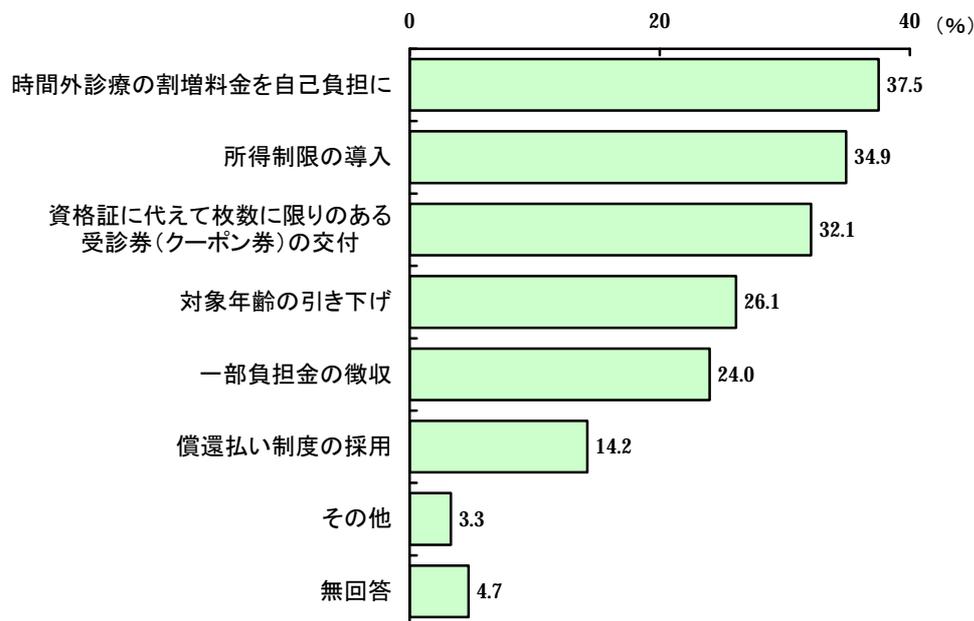
医療機関の受診の頻度別にみると、回数が多いほど、「必要である」と回答した割合が高くなっている。

見直しもやむを得ないと回答した世帯のうち、その方法として、「時間外診療を自己負担に」と回答した割合が最も高く37.5%であり、「所得制限の導入」、「資格証に代えて枚数に限りのある受診券(クーポン券)の交付」の交付が続いている。

【小児医療無償化維持の必要性/受診頻度別】



【見直しの方法】 N=570



## (6) 充実を望む子育て支援サービス

見直しもやむを得ないと回答した世帯のうち、充実を望む子育て支援サービスとして、「予防接種費用の助成」と回答した割合が最も高く **66.8%**であり、「幼稚園の預かり保育の充実」、「保育所入所条件の緩和」「放課後児童クラブの定員増」が続いている。

【充実を望む子育て支援サービス】 N=570

